

官報

號外

明治四十五年三月一日

金曜日

印刷局

○第二十八回 衆議院議事速記録第十四號

明治四十五年二月二十九日(木曜日)午後一時十二分開議

議事日程 第十三號 明治四十五年二月二十九日

午後一時開議

第一 拘留科料ニ關スル裁判法案(下部喜太郎君)

第一讀會

第二 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(武藤金吉)

第一讀會

第三 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案(根本正君外)

第四 鐵道速成ニ關スル建議案(江原節君外)

第五 農業金融ニ關スル建議案(恒松隆慶君)

第六 鐵道建設ニ關スル建議案(根本正君外)

第七 神社行政統一ニ關スル建議案(早川龍介)

第八 直江津開港ノ建議案(水品平右衛門)

第九 七尾灣築港ニ關スル建議案(戶水寬人君)

第十 金澤高等工業學校設立ニ關スル建議案(戶水寬人君)

第十一 私設運河築港ニ關スル建議案(漆昌巖君外)

第十二 鐵道速成ニ關スル建議案(渡邊修君外)

第十三 上越鐵道敷設ニ關スル建議案(青柳信五郎君)

第十四 信越河東線鐵道建設ニ關スル建議案(安川保次)

第十五 (特別報告第六十五號)復族ニ關スル請願

第十六 (特別報告第六十八號)爭議調停法制定ノ請願

第十七 (特別報告第六十九號)庄内川改修ノ請願

第十八 (特別報告第七十號)大井川改修工事國庫支辨

第十九 (特別報告第七十一號)大井川橋梁架設ノ請願

第二十 (特別報告第七十三號)平家音樂史平家物語史

第二十一 (特別報告第七十四號)區裁判所出張所設置

第二十二 (特別報告第七十五號)登記所位置變更ノ請願

(委員長報告)

第二十三 (特別報告第七十六號)登記所設置ノ請願

(委員長報告)

第二十四 (特別報告第七十七號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第二十五 (特別報告第七十八號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第二十六 (特別報告第七十九號)郵便局再設ノ請願

(委員長報告)

第二十七 (特別報告第八十號)郵便局設置ノ請願

(委員長報告)

第二十八 (特別報告第八十一號)集配事務開始ノ請願

(委員長報告)

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

七尾灣築港ニ關スル建議案

提出者 戶水 寬人君 小池 靖一君 駒田 小次郎君

金澤高等工業學校設立ニ關スル建議案

提出者 戶水 寬人君 小池 靖一君 松田 吉三郎君

私設運河築港ニ關スル建議案

提出者 漆 昌巖君 長 晴 登君

小名濱輕便鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 星 一君 柏原 左源太君 佐々木鐵太郎君

小名濱港改良ニ關スル建議案

提出者 星 一君 齋藤 二郎君 長 晴 登君

區裁判所出張所設置ニ關スル建議案

提出者 安川 保次郎君 水品平右衛門君 佐治 幸平君

一武市庫太君ヨリ米價騰貴ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一千田軍之助君ヨリ土地増價稅ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一中村啓次郎君ヨリ神社併合獎勵ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一大橋賴摸君ヨリ電氣事業ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一早速整爾君ヨリ物價騰貴ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一常任委員ノ補缺選舉ニ左ノ通り當選セラレタリ

官報號外

明治四十五年三月一日(明治三十五年三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第十四號 議長ノ報告

一九九

第七部

決算委員 有田 源一郎君

一第四部選出決算委員肥後幸盛君ヨリ病氣ノ爲辭任ノ申出アリ

一第八部選出決算委員阿部政太郎君ヨリ病氣ノ爲辭任ノ申出アリ

一長場龍太郎君病氣ニ付今二十九日ヨリ一週間請假ノ申出アリ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去年二十七日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

樺太酒類出港稅法案外二件

戸狩權之助君

鷺田 士三郎君

綾部 惣兵衛君

衆議院議員選舉法中改正法律案

伊藤 大八君

東 武君

宮古 啓三郎君

伊東 要藏君

菊池 侃二君

板東 勘五郎君

柚木 慶二君

濱田 國松君

藤澤 幾之輔君

豐増 龍次郎君

小河 源一君

井阪 光暉君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

樺太酒類出港稅法案外一件委員會

委員長 戸狩權之助君

衆議院議員選舉法中改正法律案委員會

委員長 伊藤 大八君

理事

委員長

森 國造君

黃金井 爲造君

淺 羽 靖君

山本 佛二郎君

寺井 純司君

高橋 直治君

平島 松尾君

小橋 榮太郎君

戸水 寛人君

鷺澤 總明君

粕谷 義三君

山口 熊野君

福井 三郎君

永江 純一君

高橋 文質君

高木 益太郎君

西村 丹治郎君

須藤 嘉吉君

森 肇君

三谷 軌秀君

平島 松尾君

鷺澤 總明君

吉植 庄一郎君

松田 源治君

高木 益太郎君

小河 源一君

理事

委員長

伊藤 大八君

理事

委員長

伊藤 大八君

理事

委員長

伊藤 大八君

理事

委員長

伊藤 大八君

理事

委員長

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ極リマシタ、尙請假ノ件ニ付テ之ヲ許可スルニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ之ヲ許可致シマス、日程第一拘留科料ニ關スル裁判法案、提出者ト部喜太郎君

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第一 拘留科料ニ關スル裁判法案(ト部喜太郎君外一 第一讀會)

名提出)

拘留科料ニ關スル裁判法案

第一條 區裁判所ニ於テ拘留又ハ科料ニ處スヘキ犯罪ニ付刑ノ言渡ヲ爲ス

ニハ口頭審理ヲ用井ス犯罪ノ事實適用ノ法令及正式ノ裁判ヲ請求シ得ヘ

キ期間ヲ明示シタル書面ヲ作成シテ被告人ニ送達スヘシ

第二條 前條ノ刑ノ言渡ニ對シ不服アルトキハ送達ヲ受ケタル日ヨリ五日

以內ニ刑ノ言渡ヲ受ケタル區裁判所ニ正式ノ裁判ヲ請求スヘシ

刑ノ言渡ヲ爲シタル區裁判所ト被告人住所所ノ區裁判所ト異ナルトキハ

被告人ハ住所所ノ區裁判所ヘ前項ノ期間內ニ正式ノ裁判ヲ請求スルコト

ヲ得

第三條 前條第二項ノ場合ニ於テハ被告人住所所ノ區裁判所ハ刑ノ言渡ヲ

爲シタル區裁判所ニ對シ記録ノ移送ヲ請求スヘシ

附則

明治十八年九月第三拾壹號布告違警罪即決例ハ之ヲ廢止ス

本法ノ施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(ト部喜太郎君登壇)

○ト部喜太郎君 本員ハ拘留科料ニ關スル法律案ヲ提出致シマシタ理由ヲ簡單ニ

陳述ヲ致シマス、拘留科料ニ關スル法律案ナド、申シマス、其主義カラ見マスレバ

甚ダ輕微ナル案件ノヤウニ見エカハ存ジマセヌケレドモ、此議案ノ成立スルセザルトハ、

國民ノ權利ノ消長ニ重大ナル關係ヲ持ッテ居ルデアリマシテ、憲法政治ノ運用ノ上ニ

於テ、我日本帝國ノ現行ノ法制ノ上ニ於テ、一大缺點ガアルデアリマス、其一大缺

點ヲ補ウテ満足ニ此憲法政治ヲ法制ヲ完備シタイト云フノガ、本案提出ノ趣意ニナル

デアリマス、御承知ノ通り舊刑法ノ時代ニ於キマシテハ、拘留ハ刑法上ノ刑罰ト致

シマシテ、拘留ハ一日以上十日以下ト云フコトデアリマシタ、科料ハ五錢以上一圓九

十五錢ト云フコトデアリマシタ、刑法ガ改定セラレテ、此刑期ノ範圍ガ非常ニ

廣クナリマシタ、現行ノ刑法ニ於キマシテハ拘留ハ一日以上三十日未滿、科料ハ十錢

以上二十圓未滿ト云フコトニナッテ居ルデアリマス、而シテ如何ナル犯罪行爲ニ此拘

留若クハ科料ノ刑罰ヲ科スルカト申シマス、多クハ警察犯處罰例ノ適用ニ科スルノ

デアリマス、警察犯處罰例ト云フモノハ內務省令ヲ發布ニナッテ居リマシテ、其內容等

ハ此處テ詳ク申上グル必要ハナイデアリマス、ケレドモ此拘留、科料ノ刑罰ニ處セラ

ハ此處テ詳ク申上グル必要ハナイデアリマス、ケレドモ此拘留、科料ノ刑罰ニ處セラ

ル、ヤウナ人ト云フモノハ多クハ生活程度ノ低イ、謂ハ其日暮シト云フヤウナ者ノ受クル刑罰アリマシテ、縱令僅カニ二圓、五圓ノ科料ニ致シマシテモ、十日、五日ノ拘留ニ致シマシテモ、其影響スルトコロト云フモノハ實ニ重大ナル結果ヲ來スノデアリマス、然ルニ現在ニ於テハ此拘留、科料ニ關スル裁判ト云フモノハ如何ナル官吏ガ取扱フテ居ルカト申シマス、明治十八年九月第三十一號ノ布告テ違警罪即決例ト云フモノニ依ッテ處斷シテ居ルデアリマス、此違警罪即決例ノ内容ニ付キマシテハ、此布告ニ讓ッテ置キマスノデアリマスガ、其要旨ト云フモノハ警察署長及分署長又ハ其代理タル官吏ハ其管轄地内ニ於テ犯シタル違警罪ヲ即決スベシト云フノガ一條ニ規定サレテ居ルデアリマス、此條文ノ規定ニ依リマシテ、拘留若クハ科料ノ刑ニ處セラルベキ多クノ裁判事件ト云フモノハ、悉ク警部、警部補若クハ其代理人タル巡查ニ依ッテ裁判ヲセラレテ居ルト云フノガ、今日ノ現行法アルデアリマス、憲法政治行ハレマシタコロノ過渡ノ時代ニ於キマシテハ、古イ法制ト云フモノヲ一時保存シテ置クト云フヤウナ必要モナキニアラズデアリマセウケレドモ、既ニ二十有餘年ノ間憲法政治ヲ施シテ置キナガラ、明治十八年布告ノ第三十一號ト云フ此ノ如キ野蠻ノ法律ガ現今我法律ノ上ニ存在シテ居リマシテ、之ニ依ッテ多クノ裁判事件ガ取扱ハレテ居ルト云フコトハ如何ニモ奇怪至極ナ現象ト言ハナケレバナラヌデアリマス、然ラバ其違警罪即決例ニ依ッテ警察官ガ裁判ヲ致シテ居リマスガ、ドノ位ノ一體裁判事件ヲ取扱フテ居ルデアラウカ、輕微ナル事件デアッテ、其件數ト云フモノモ誠ニ少ナイモノデアリマシタナラハ、一ノ便法トシテ之ヲ殘シテ置クト云フ事柄モ或ハ甚シキ害惡ハナイカハ知レマセウケレドモ、今政府ノ統計ニ依ッテ本員ノ調ベマシタコロニ依リマスルト云フト、明治四十二年ニ於キマシテ拘留ニ處セラレタ者ガ、五万九千六百四十六件アルデアリマス、ソレカラ科料ニ處セラレタ者ガ四万四千二百五十九件、丁度違警罪即決例ニ依リマシテ、明治四十二年度三十五万二千二百三十七人ト云フ者ガ拘留、科料ニ處セラレテ居ルデアリマス、四十三年度モ稍、其數ハ同シヤウナモノデアリマシテ、拘留ガ五万五千八百八十四件、科料ガ四十一万七千二百四十三件、合計四十六万八千四百二十七人ト云フ者ガ違警罪即決例ニ依リマシテ、警部若クハ巡查ノ裁判ニ依ッテ處分ヲ受ケテ居ルデアリマス、然ラバ此正式ノ方ノ裁判ハドウデアラウカト申シマスルト、正式ニ裁判所テ拘留ノ言渡ヲ受ケタ者ノ統計ヲ見マスルト、四十二年ニハ刑法犯ガ僅ニ三十一件、特別法ノ犯罪ト云フモノガ百四十五件、ソレカラ警察犯處罰例ニ依ッテ罰セラレタ者ガ百一十一件、正式裁判即チ違警罪即決例ニ不服ナリトシテ正式ニ裁判ヲ受ケマシタノガ四百九十九件アルデアリマス、之ヲ合計致シマスルト四十二年ニ於キマシテハ僅ニ正當ニ裁判ヲ受ケテ居ル數ト云フモノハ七百八十八件シカナノデアリマス、四十二年度ニ於キマシテハ刑法犯ガ二十六件、特別法ノ犯罪ガ百五十九件、警察犯處罰例ガ七十五件、正式裁判ガ四百七十六件合計七百四十六件ト云フデアリマス、即チ裁判所構成法ニ相當ノ裁判ガアルニモ拘ラズ、拘留、科料ニ處セラレトコロノ四十何万ノ事件ト云フモノハ悉ク警察ノ處分ニ任セラレテ居ルト云フノガ今日ノ事實デアリマス、或ハ此違警罪即決例ノ警察ノ裁判ニ不服ナル者ハ正式ニ裁判ヲ仰グコトガ出來ルデアラカシテ、救

濟ノ途ハアルデアナイカト云フヤウナ論モアルデアリマスガ、此正式ノ裁判ヲ請求シタ數ト云フモノガ、四十二年ニ於キマシテハ四十四万二千五百九十一件ノ中デ、僅ニ四百九十九件シカナノデアリマス、又四十二年ニ於キマシテハ四十六万八千四百一十七件ノ中デ、僅ニ七百四十六件シカナノデアリマス、然ラバ正式ノ裁判ノ結果ハドウデアラカト申シマスルト、是モ政府ノ統計ニ依リマスルト明治四十二年ニ於キマシテ、正式裁判ヲ仰イダ總數ト云フモノガ千三百七十七件アルデアリマス、拘留、科料總數ノモデアリマス、其中テ無罪若クハ免訴ニナッタ者ガ五百三十三件、四十二年ニ於キマシテハヤハリ正式ノ裁判ヲ請求シタ事件ト云フモノガ千五百五十三件アリマスケレドモ、其中テ無罪免訴ニナッタ者ガ二百四十三件デアリマス、警察署ノナシタ違警罪即決例ニ依ルトコロノ處分ニ對シテ、正式ノ裁判ヲ請求シタ結果ト云フモノハ、其大部分ノ者ガ無罪ニナッテ居ル事實ト云フモノハ如何ニ此警察ノ違警罪即決例ニ依リ裁判ト云フモノガ不法ノモノガ多イト云フ事柄ハ此統計ニ依ッテモ明瞭ニ之ヲ證明スルコトガ出來ルデアリマス、ソレノミナラズ此違警罪即決例ト云フモノハ本當ノ犯罪人ヲ罰スルト云フタメニ適用サレテ居ルト云フノナラハ、マダ幾ラカ我慢ガ出來ルデアリマスケレドモ、此違警罪即決例ヲ濫用セラレテ、人權ヲ蹂躪スル事蹟ト云フモノガ夥シノデアリマス、此前三本案ヲ提出シタ時分ニ本員ハ其事實ヲ舉ゲテ諸君ニ御訴申シデアリマスカラシテ、今更同一ノコトヲ繰返シ必要ハナイデアリマスケレドモ、此違警罪即決例ト云フモノハ多クハ各警察署ニ於キマシテ犯罪ヲ搜查スルトコロノ便宜ノ方法ニ用井ラレルデアリマス、何カ違警罪即決例デ以テ拘留、科料ニ處スベキ犯罪行為ガアッタト云フノデ、警察署ニ引張ッテ行クデアナイデアッテ、他ノ犯罪ノ嫌疑ガアルト云フヤウナ場合ニ、無暗ニ警察署ガ人ヲ引張ッテ行クト云フ事柄ハ法律ノ許サヌトコロデアリマスカラシテ、チヨット警察ニ出テ吳レト云フノデ呼出シテ來ル、ドウ云フ風ニ今日デハヤッテ居ルカト申シマスルト、立派ニ一軒ノ家ヲ持ッテ正業ヲ營シテ居ル者ニ向ッテ、警察犯處罰例ノ一定ノ住所又ハ正業ナクシテ諸方ヲ徘徊スル者、斯ウ云フ條文ヲ適用シテ、オ前ハ浮浪罪アルト云フノデ、警察ノ見込ニ依ッテ必要次第第十日デモ、二十日デモ、二十日未滿ト云フモノハ警察署ニ拘留シテ置クト云フデアリマス、或ハ又警察ノ眼鏡ヲ以テ或ル犯罪ノ嫌疑ノアルト云フヤウナ者ニ向ッテ十分ニ其事蹟ヲ搜查シテ證據ヲ舉ゲテ之ヲ檢舉スルト云フ方法ヲ採ルノガ當然デアリマスケレドモ、其適當ナ途ヲ取リマセヌデ、ヤハリ警察署ニ喚出シテ來テ、オ前ガ人殺シタラウト云フ訊問ヲスルデアリマス、イエ、人ヲ殺シタ覺ハアリマセヌ、宜シイ待テ、官署、公署ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ、又ハ其義務アル者ニシテ故ナク申述ヲ肯ゼザル者ト云フノガ警察犯處罰例ニアルデアリマス、今殺シテ置キナガラ本署ノ訊問ニ對シテ人ヲ殺サナイト云フカラシテ、官署ノ訊問ニ對シテ不實ノ陳述ヲシタデアラカラ二十九日ノ拘留ニ處スルト、斯ウ云フデアリマス、ソコデ二十九日間拘留ヲシテ置イテ、手ニ品ヲ變ヘテイロノノ訊問ヲシマスルケレドモ、警察ノ眼鏡ト云フモノハ全ク違ッテ居ッテ、此人ガ眞ノ犯罪人デナイト云フコトガ明瞭ニナリマスルト云フト、モウ用ガナイカラ家ヘ歸レト、斯ウ云フコトニナルデアリマス、實ニ違警罪即決例ト云フモノヲ濫用シテ、下級社會ノ自己ノ權利ヲ主張スルコトノ出來ナイ者ニ向ッテ、無法ナ處置ヲシテ居

ルト云フコトハ、ツレハ言語道斷ノ有様アルノデアリマス、然ラバ此正式ノ裁判ヲ請求スル機會ガアルデハナイカト申シマスケレドモ、下級社會ノ自己ノ權利ヲ主張スルコトコノ力ノナイモノガ、ナカ／＼以テ正式ノ裁判ナド云フモノヲ要求スルコトハ出來ナイノデアリマス、偶々親戚或ハ縁故アル友人ナドガ面會ニ行ツテモ、土臺面會ヲ許サヌ、辯護士ヲ以テ頼シテ十分ナ理窟ヲ申入レテ漸ク面會ヲ許シテ、ツレカラシテ後ニ幾多ノ費用ヲ投シナケレバ正式ノ裁判ナドヲ要求スルコトガ出來ナイト云フノガ、今日ノ有様デアリマス、ソレ故ニ正式ノ裁判ヲ要求スル機會ガアルトシテモ、下等社會ノ車挽アルトカ、多クノ勞働者、其日暮シ、其人ガ一家ニ居ラナケレバ家族數口ノ者ガ餓口ニ苦ムト云フモノガ、ナカ／＼以テ辯護士ヲ頼シテ自己ノ權利ヲ主張スルコトハシナイノデアリマス、ソレ故ニ多クノ者ガ泣寝入ニナツテ看ス／＼二十日間——二十九日間ト云フモノハ警察ノ暗所ニ打込シテ、其權利ヲ主張スルコトガ出來ナイト云フノガ、今日ノ有様デアリマス、左様ナル事柄ト云フモノハ實ニ今日ノ政治ノ上ニ於テ許スベカラザル現象デアリマス、何トカシテ如何ナル方法ヲ設ケテモ、此ノ如キ禍害ト云フモノハ日本ノ法制ノ上カラ取除クニアラザレバ、此憲法政治ノ精神ト云フモノハ全ウスルコトハ出來ナイモノト信ズルノデアリマス（拍手起ル）モナラズ此問題ト云フモノハ實ニ憲法上ニ取リマシテモ容易ナラナイ問題デアアルノデアリマス、謹シテ帝國憲法ノ規定ヲ案ジマスルト「日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシテ逮捕監禁審問處罰ヲ受クルコトナシ、日本臣民ハ法律ニ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權利ヲ奪ハル、コトナシ」ト云フノガ憲法ノ條文ニ明カニ規定サレテ居ルノデアリマス、然ルニ年々歳々拘留、科料ニ處セラル、トコロノ殆ド四十有餘萬ノ日本帝國ノ臣民ト云フモノハ日本ノ法律ニ定メラレタコロノ裁判官ノ裁判ヲ受クルコトコノ權利ヲ奪ハレテ、下級ノ行政官デアルトコロノ警察官ノタメニ自由自在ニ其裁判ヲ行ハレ、其自由ヲ拘束サレテ居ルト云フノガ、今日ノ現狀デアリマス、此案ハ二十五議會ニモ、二十六議會ニモ、本員カラ提出シタ問題デアリマスケレドモ、政府ノ之ニ同意スルコトノ出來ナイト云フ理由ヲ承リマス、是ハ何ニモ裁判デハナイ、行政處分デハナイカ、ツレハ名前何ントモ付ケルコトガ出來マセウケレドモ、現ニ毎年四十有餘萬ノ人間ト云フモノヲ警察ノ暗所ニ打込シテ、自由ヲ拘禁シ、或ハ又二十圓未滿ノ科料ト云フモノヲ科シテ、ドシ／＼其裁判權ヲ奪ツテ居ルノデアリマスカラ、名前何ントモ付ケルコトガ出來マスガ、其實ハ即チ下級ノ行政官吏ガ此ノ如ク多クノ裁判事務ヲ取扱ツテ居ルモノト云ハナケレバナラヌデアリマス、帝國憲法ノ上ニ於テハ司法權ト行政權ノ區別ト云フモノヲ明カニシテ居ルノデアリマス、行政權ヲ以テ司法權ニ立入ルコトモ出來マセウケレバ、司法權ヲ以テ行政權ニ立入ルコトモ出來マセウケレバ、然ルニ下級ノ微々タル行政官吏タル警部、巡查ト云フモノガ、此ノ如ク裁判權ヲ現ニ實行シテ居ルコトニナリマス、帝國ノ司法權ト云フモノハ拘留、科料ニ關シテハ、悉ク行政權ノタメニ蹂躪セラレテ居ルト云フコトニナツテ、司法權ノ獨立ト云フコトハ、此點ニ於テ完ク失ツテ居ルト云ウテモ過言デハナイト思フ、憲法ニ「司法權ハ天皇ノ名ニ於テ裁判所之ヲ行フ裁判ノ構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム裁判官ハ法律ニ定メタル資格ヲ備フルモノヲ以テ之ニ任ス裁判ノ對審判決ハ之ヲ公會ス」ト云フ條文ハ司法權ノ獨立、司法權ノ神聖ナルコトヲ認メラレタ條文デアアル、然ルニ今日違警罪即決例ガアルガタメ

ニ、拘留、科料ニ關スル裁判ハ此憲法ノ條規ニ完ク牴觸シタコロノ下級ノ行政官吏ト云フモノガ、司法權ヲ行ツテ居ルノデアリマスカラ、憲法政治ニ於テ一日モ此違警罪即決例ヲ存立スルト云フコトハ許サヌデアリマス、ツレノミナラズ是ハ大ニ考ヘナケレバナラス點ガアルト思ヒマス、刑事政策ノ上ニ於テ此違警罪即決例アリテ、下級ノ行政官吏ト云フモノガ此即決例ヲ濫用シテ、多クノ人權ヲ蹂躪スルト云フ結果ハ如何ナルトコロニ國家ノ政治ニ禍害ヲ醸シ來スデアリマセウカ、是ハ餘程考慮シナケレバナラヌ問題ト思フデアリマス、現ニ犯罪人ガ年々増加スルト云フコトハ甚ダ憂フベキコトデアリマス、之ヲ豫防スルニ付テハイロ／＼ノ方面カラ勿論研究ヲシナケレバナリマセヌ、或ハ教育ノ力ニ依リ、或ハ又宗教ノ力ニ依リ、或ハ又多クノ慈善事業ナドニ依リ、或ハ出獄人保護ノ方法等イロ／＼ノ方法ニ依ツテ、此問題ヲ解決シナケレバナラヌデアリマスケレドモ、犯罪人ヲ豫防スル一番大切ノコト、云フモノハ一般國民ニ國法ヲ尊重スルト云フ觀念ヲ養成スルト云フ事柄ガ最も必要ナコト、思フデアリマス、國法ヲ尊重スルト云フ氣風ヲ養成スルコトニナルニハ、ドウシテモ國民ノ權利ヲ尊重スルト云フコトコノ制度ト云フモノヲ完備セシメナケレバナラヌト思フデアリマス、國法ニ無暗ニ人權ヲ蹂躪スルコトノ規定ヲ存シ、法ヲ執ル官僚ガ無暗ニ這般ノ人權ヲ蹂躪スルト云フ惡風ガアリマシテハ、到底國法ヲ尊重シ、自己ノ權利ヲ尊重シ、他人ニ對シテ義務ヲ守ルト云フ美風ヲ養成スルト云フコトハ出來ヌデアリマス、拘留、科料ト云フモノハ勿論輕微ナル形罰デハゴザイマスケレドモ、苟モ二十日未滿ノ人ノ自由ヲ奪フノデアル、苟モ二十圓未滿ノ人ノ財産ヲ奪フコトコノ制裁ヲ加フルノデアリマスカラシテ、縱令輕微ナル形罰ヲ科スル場合ニ於テモ、最も其審理ノ手續ト云フモノヲ慎重ニシテ、縱令一人タリトモ間違ツタモノヲ罰スルト云フコトコノナイヤウニシナケレバナラヌデアリマス、此ノ如クニ致シマスルト一般國民ハ成程權利ト云フモノハ尊重セベキモノデアアル、國法ト云フモノハ又尊ブベキモノデアアル、裁判ト云フモノモ誠ニ有難イコト云フ觀念ト云フモノヲ自然一般國民ノ頭ニ吹込ムコトガ出來ルト思フデアリマス、裁判所ト云フ所ハ昔カラ司法省ハ絶海ノ孤島デアルト云フノデ、世間ノ空氣ナドノ吹入ラザル所ノヤウナ觀念ガアルノデアリマスケレドモ、申スマデモゴザイマセヌ、司法制度ト云フモノハ國ノ政治ニ最も重要ナル機關デアリマス、此制度ガ満足ニ行カ行カヌカト云フコトハ、實ニ國家ノ一大事ト云ハナケレバナラヌ、勿論財政ノ整理モシナケレバナリマセヌ、行政ノ刷新モ計ラナケレバナラヌデアリマスケレドモ、ソレト同時ニ此司法機關ト云フモノニ一大缺點ノナイヤウニ満足ニ運用スルコトヲ計ルト云フ事柄ハ政治ニ局ニ當ル者ノ最も注意シナケレバナラヌ點デアリマス、何千萬ノ國民ノ中ニ縱令一人タリトモ其所ヲ得ナイ者ガアリマシタナラバ、必ズヤ政治ノ上ニ何等カノ故障ノ生ズト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマス、況ヤ私ガ統計ヲ舉ゲテ申シマシタ如ク、年々歳々四十五萬ノ國民ト云フモノガ違警罪即決例ノ下ニ下級ノ行政官吏ノタメニ不法ノ裁判ヲ受ケテ之ニ甘シテ居ナケレバナラヌト云フコトニナリマスレバ、其結果ハドウ云フコトニナルノデアリマセウカ、實ニ國家ノタメニ寒心ニ堪ヘナイノデアリマス、若シ國家ノ裁判ニ不平ヲ懷クノ徒ト云フモノガ年々歳々増加シテ來テ、法律モ構ハナイ、裁判ニモ服從スルニ及バヌト云フヤウナモノガ、年々歳々日本ノ國家ニ増加シテ終ニ自暴自棄ノ徒ヲ出スト云フコトニナツタナラバ、如何ナモノデゴザイマセウカ、危險思想云々ナドノコト

ヲ私ハ此演壇ニ於テ繰返スコトヲ屑ト致シメヌガ、國民ノ間ニ國ノ政治ニ不滿ナルモノアリ、國ノ裁判ニ服從セザル者ガアツテ、之ガタメニ自暴自棄ノ念ヲ起スモノガアリマシタナラバ、如何ニ内務省ガ宗教ノ力ニ依ツテ、ドウカ國民道德ヲ促シタイト云フコトヲ御考ヘニテ、文部省ガ如何ニ教育ノ力ニ力ヲ盡シテモ、マルデ底抜ノ物ニ物ヲ容ル、如クデアツテ、底ノ方カラドンノ危險思想ト云フモノガ發生シテ行クト云フ一大危害ト云フモノガ、此所ニ伏在シテ居ルモノト私ハ言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、實ニ國ノ裁判ニ無理ノヤリ方ガアツテ其裁判ニ服從スルコトが出来ナイヤウナモノガ、國內アチラコナニ年々歳々二十万、五十万國民ノ中ニ増加シテ行クト云フコトニナリマスレバ、形ヲ以テ其危險ト云フコトヲ茲ニ證明スルコトハ出來ヌノデアリマスケレドモ、其國政ニ及ボスコロノ危險ハ容易ナラヌデアラウト云フ事柄ハ直ニ想像スルコトハ出來ル、問題デアラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラシテ、單ニ違警罪即決例ノ現存スルト云フ事柄ハ今日ノ政治ノ下ニ於テ、憲法政治ノ精神ニ背クモノデアル、司法、行政ノ區別ヲシナイモノデアルト云フノミ止ラズ、犯罪人ヲ豫防スルコト云フ刑事政策ノ上ニ於テモ、重大ナル關係ヲ持ッテ居ル案デアルト云フ事柄ハ容易ニ了解スルコトが出来ルデアラウト思ヒマス、斯様ナ次第デアリマスカラシテ、ドウウ一ツ此違警罪即決例ヲ廢シテ、十分ニ人權ヲ擁護スル途ヲ立テタイト云フノガ私ノ主眼デアリマス、諸般ノ政務ヲ刷新致シマシテ、政治ノ面目ヲ改メテ、天下人心ヲ新ニシテ、國運ノ發展ニ伴ハントスルト云フノガ、現内閣ノ施政ノ方針デアルサウデアリマスカラ、想フニ違警罪即決例ヲ廢シテ、十分ニ國民ノ權利ヲ擁護スルコト云フコトハ立ロニシテ出來ルトコロノ問題デアリマスカラシテ、現内閣ニ於テハ喜シク此案ヲ迎ヘラレルデアラウト本員ハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、今マデノ政府ガ此案ニ反對スル理由ニ依ルト、此案ヲ實行スルコトニナリマス、裁判官ノ人員モ増加シナケレバナラヌ、從ッテ若干ノ經費ヲ増加スルコトニナルデアルト云フケレドモ、此ノ如キ惡法ヲ存シテ置イテ、ソレガタメニ却テ危險ナル分子ガ社會ニ年々増加シテ、ソレガタメニ犯罪ヲ増加スルヤウナ惡影響ガアルデアリマスカラ、其惡影響ノ根本カラ削去リマシタナラバ、寧ロ犯罪人ハ非常ニ減少スルデアラウト思フノデアリマス、犯罪人減少ト云フコトニナリマスレバ、監獄費ヤ裁判ノ費用ト云フモノハ自然節減スルコトガ出來ルデアリマス、私ハ思フニ違警罪即決例ト云フモノヲ全然廢止シテ、本員ノ提出シタ如キ方法ニ依ッテ此裁判ヲ爲スト云フコトニナリマシタナラバ、此拘留、科料ニ處スベキ眞ノ犯罪人ト云フモノハ、恐クハ百分ノ一位ニナルト思ヒマス、四十五万ノ百分ノ一ト申シマシタナラバ、全國ノ區裁判所ニ分ケテ之ヲ裁判スルコトニ致シマシタナラバ、何ニモソレ程ニ事務ガ急ニ増加シテ、サウシテ非常ニ經費ヲ要サナケレバナラヌト云フコトハ決シテナイノデアリマス、右様ノ次第デアリマシテ、拘留、科料ニ關スル裁判法案ナドト申シマスルト、名前ガ甚ダ不景氣ノ案デアリマスケレドモ、其實ト云フモノハ憲法政治ノ上ニ於テハ此ノ如キ惡制ト云フモノハ一日モ存立スルコトヲ許サナイモノデアリマスカラシテ、滿場ノ諸君ハドウゾ此法案提出ノ理由ト云フモノヲ十分ニ諒トセラレテ、十分ニ御審議ノ上、此案ノ成立スルコトニ御盡力アラント希望シテ止マナイノデアリマス

○恆松隆慶君 本案ハ刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案ト云フ案ガ委員ニ付託ニナツテ

居リマスカラ、其同一ノ委員ニ付託セラレシコトヲ希望致シマス
○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ 本案ハ刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案ヲ付託シタル委員ニ委託スルコトニ決シマシタ、日程第二、關稅定率法輸入稅表中改正法律案――武藤金吉君

第二 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(武藤金吉 第一讀會 君提出)
關稅定率法輸入稅表中改正法律案
關稅定率法輸入稅表中左ノ通改正ス
一七五 鹽化加里及硫酸加里
一 精製ノモノ 從價 二割
二 其ノ他 無稅
附則
本法ハ明治四十五年四月十日ヨリ之ヲ施行ス
(武藤金吉君登壇)
○武藤金吉君 簡單ニ說明ヲ致シマス、此案ハ關稅定率法輸入稅表中ノ百七十五ニ硫酸加里一、精製ノモノ從價二割二、其他無稅「斯ウ云フノガアリマス、是モ現在ノ關稅定率表ニアリマス」ニ改正ノ要旨ハ之ニ鹽化加里及硫酸加里ト直スノデアリマス、其要旨ハ此鹽化加里ト云フモノハ未ダ我國ニハ澤山輸入ニハナツテ居リマセヌ、ナツテ居リマセヌノミナラズ、此關稅定率法ヲ制定スル時分ニ本員モ其委員ノ一人デアリマシタガ、政府デモ項目モ舉ゲテアリマセヌ、項目ヲ舉ゲテアリマセヌノミナラズ、其當時ハ輸入ニナツテ居リマセヌカラ、其後ニ於テ昨年始メテ五十噸バカリ輸入シマシタ、項目ニアリマセヌノデスカラ、二割ノ輸入稅ヲ課セラレタルノデ、同ク此硫酸加里ト鹽化加里ハ粗製ノ鹽化加里ハ肥料ノ原料トナリ又硫酸加里ハ磷寸ヲ製造致シマスル藥品ノ原料トナルデアツテ、是等ハ悉ク無稅デアツテ是タケカ此關稅定率法ノ輸入稅表ノ二百二十九番ノ別號ニ掲ゲザル藥劑化學藥及製藥ヲ適用シテ從價二割ヲ課シタルト云フコトハ如何ニモ均衡ノ取レナイコトデアル、ソレデス様ニ直シマシテ硫酸加里ト鹽化加里ヲ同様ニ取扱フト云フコトハ、此肥料ノ原料トシテ此品物ハ獨逸カラ入ルモノデアリマスケレドモ、相當デアラウト思フノデアリマス、ソレカラ又此法律ヲ改正致シマシテモ、別段國庫ノ收入ニハ影響ハ少シモアラウトハ思ハナイノデアリマス、ソレデ詳シク申上ゲマシテモ宜シウゴザリマスガ、餘リ詳ク申上ゲヌデモ恐クハ政府ニ於テモ御同意デアルト私ハ信ズルノデアリマス、委員會ニ付託ニナリマシタナラバ、委員會ニ於テハ尙詳細ニ說明ヲ致ス積リデアリマス、其大要ヲ說明ヲ申上ゲタ次第デアリマスカラ、宜シク御審議ノ上此案ノ成立ニナルコトヲ希望致シマス
○恆松隆慶君 議長指名九名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス

○恒松隆慶君 此場合緊急動議ヲ提出致シマス、日程ヲ變更シテ、水道條例中改正法律案、是ハ既ニ早ヤ過日提出ニナリマシタ各議員ノ方ニ印刷物ヲ配付ニナッテ居リマスカラ、ドウカ此場合之ヲ議題トセラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 日程ヲ變更シテ、此場合水道條例中改正法律案ヲ議スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ日程ヲ變更シテ、水道條例中改正法律案ヲ議題ニ供シマス——井上角五郎君

水道條例中改正法律案(井上角五郎君外八名提出) 第一讀會

水道條例中改正法律案

第二條但書ヲ左ノ如ク改ム

但當該市町村ニ於テ其資力ニ堪ヘサルトキハ市町村以外ノ企業者ニ水道ノ施設ヲ許可スルコトアルヘシ

同條第二項ヲ削ル

第三條第二項中「元資償却ノ方法」ヲ削ル

第十五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但市町村以外ノ企業者ニ係ル場合ニハ當該市町村ハ相當ノ料金ヲ企業者ニ支拂フモノトス

第十七條 市町村ニ非サル企業者ノ施設シタル水道ニシテ許可年限ノ滿了シタル後ハ關係市町村ハ水道施設ニ要シタル費用ヲ支拂ヒ其水道及水道經營ニ必要ナル土地物件ヲ買收スルコトヲ得

前項費用ノ範圍ニ關シ當該市町村ト企業者トノ間ニ爭アルトキハ地方長官之ヲ決定ス

地方長官ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第十八條 市町村ニ非サル企業者ノ施設シタル水道ニシテ關係市町村ニ於テ必要ト認ムルトキハ許可年限ノ滿了前ト雖之ヲ買收スルコトヲ得

前項ノ買收價格ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ地方長官之ヲ決定ス其決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第十九條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ企業者ニ於テ履行スヘキ事項ヲ履行セス又ハ之ヲ履行スルモ充分ナラスト認ムルトキハ當該吏員ニ於テ之ヲ施行シ其費用ハ地方長官ノ指定シタル市町村ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

前項ノ處分ハ豫メ履行期間ヲ指定シテ戒告スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得

ヲ得ス但第八條ノ場合及必要ノ時限内ニ履行シ得スト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 前條ノ處分ヲ爲シタルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ其費用ヲ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得

第二十一條 内務大臣ハ必要ト認ムルトキハ水道ノ施設ヲ市町村ニ命スルコトヲ得

〔井上角五郎君登壇〕

○井上角五郎君 諸君、本案提出ノ理由ハ極メテ簡單デアリマス、元來水道條例ハ市町村自ラ水道ヲ施設スルニアラザレバ、之ヲ許サナイト云フコトニナッテ居リマス、昨年當議會ニ於テ市町村以外ノ企業者ニモ亦水道施設ヲ許シテ宜カラウト云フコトニ法律ヲ改正致シマシタガ、其改正ハ餘リニ制限ガ無クテ、實際ニ行ハレマセヌ故ニ、之ヲ修正シテ實際ニ行ハル、ガ如ク、市町村以外ノ企業者ガ水道ヲ施設得ルコトノ出來ルヤウニシタイト云フノガ、本案ノ趣意デアリマス、斯ク致シマシタナラバ全國各地ノ多クノ水道施設ヲ希望シテ居ル者ガ、能ク其希望ヲ充タスコトガ出來ルデアラウト思ヒマス、ドウカ諸君ノ御贊成ヲ以テ速ニ通過スルコトヲ希望致シマス

○恒松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第四(第二)ト呼フ者アリ 唯今第三ガ一ツ殖ニマシタカラ之ヲ第四ト讀ンダノデス、豫メ日程ニ記載シテアル分ノ第三デス——高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、渡邊千冬君

第三 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案(根本正君外一名提出)

高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案

高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案

我カ國中央氣象臺及地方測候所ヨリ發スル天氣豫報及暴風警報ハ地上ニ存スル各地ノ氣象觀測ニ依テ之ヲ豫知スルニアルモ近年ノ研究ニ依レハ高低氣壓ハ大氣ノ高層ニ其ノ動源ヲ有スルモノニシテ其ノ進行及盛衰ハ高層ノ溫度濕度等ニ依リテ定マルモノナルコトハ疑ナシ故ニ單ニ地上ノ觀測ノミニ依頼セス高層ノ氣象ヲ觀測スルヲ得ハ暴風雨ノ發生モ其ノ以前ニ於テ之ヲ兆候ヲ認メ得ヘテ從テ豫報警報ノ機ヲ逸シ又ハ中ヲ誤ルカ如キコト少キニ至ルヘシ依リテ政府ハ速ニ高層氣象觀測所ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔渡邊千冬君登壇〕

○渡邊千冬君 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案ノ提出ノ理由ヲ申上ゲマス、此案ハ既ニ議會ヲ通過シテ居ル案デアリマシテ、其理由ハ極メテ明白デアアルデアリマス、曩ニ明治四十二年二月千葉縣ノ茨城縣ニ於キマシテ非常ナル暴風雨ガアリマシテ、數百ノ漁夫ガ其生命ヲ失ッタト云フ慘事ガアリマシタ際ニ、初メテ此案ヲ提出致シタデアリマ

ス、併ナガラ此案ノ價值ト云フモノハ獨リ是ニ止マラズシテ、我國ノ如キ國產ノ多クガ天
產物アル國ニ於キマシテハ、一タビ此高層氣象觀測所ヲ設置致シマスレバ、其國家ニ
及ボス效果ト云フモノハ極メテ偉大ナルモノガアルデアリマス、現在ニ於キマシテモ天氣
豫報ト云フモノハアルデアリマス、其觀測ノ方法ガ極メテ幼稚デアリマス、其國家ニ
ニ、其豫報ガ餘リの中シナイデアリマス、現在ノ方法ニ於キマシテハ學理上二十四時
間以前ニ於テ豫報スルコトガ出來ルコトニナッテ居リマス、是モ甚ダ的中ガ覺束ナイ
デアリマス、然ルニ此高層ノ氣象ヲ觀測致シマスレバ、四十時間以前ニ於テ氣象ノ豫
報ヲ致スコトガ出來ル、左様ニナリマスレバ我國ノ如キ各種ノ農產物ガアル國ニ於キマシ
テハ、極メテ國家ノタメニ多大ナル利益ヲ齎ラスデアリマス、今日ニ於キマシテハ霜害ノ
豫防ノ如キハ既ニ其方法ハ完全ニ發達シ、明白ニナッテ居ルデアリマス、併ナガラ一
ニシテ氣象ノ豫報ガ出來ナイタメニ霜害ヲ防グコトガ出來ナイデアリマス、併ナガラ一
タビ此高層氣象觀測所ト云フモノガ設置セラレマスレバ、是等ノ害ヲ防グコトモ容易
ノコトデアラウト思フデアリマス、今日世界中此高層氣象觀測所ヲ有シテ居ラナイハ、
唯此日本一箇國デアアルデアリマス、歐羅巴、亞米利加等ノ文明國ニ於テハ固ヨリ、西比
利亞ニ於テモ埃及ニ於テモ、支那ニ於テモ、何レノ國ニ於テモ、此高層氣象觀測所ト云
フモノハアルデアリマス、唯日本ニ於テノミ之ヲ缺イテ居ルデアリマス、而シテ我日本
ハ氣象學上最モ必要ナルコロノ地位ニアルデアリマス、既ニ先年獨逸ヨリハ氣象
觀測ノ機械ヲ我國ヘ寄贈致シマシテ、世界中此設置ノ無イハ日本ダケデアアルカ、ド
ウカ世界ノ氣象學ノタメニ之ヲ設置シテ賞ヒタイト言ッテ、能ク注意シテ參タ位ナノデ
アリマス、サウシテ其費用ハ極メテ僅カノモノデアリマシテ、サウシテ何十萬圓、何百萬圓
ノ損害ヲ防グコトガ出來ルデアリマス、此案ノ値打ト云フモノハ、今更私ガ喋々スル
必要ハナイデアラウト思フデアリマス、此ノ如ク此案ハ極メテ經濟的ナ、又極メテ文
明のナ議案デアリマスカシテ、ドウゾ願クハ直ニ即決可決セラレンコトヲ希望スル次第
デアリマス

○恆松隆慶君 本建議案ハ提出者ヨリ說明セラレマシテ明瞭ニナリマシテゴザイマス、
誠ニ必要ノ案デゴザイマス、委員ニ付託セズ、即決可決アラントラ希望致シマス。

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 本建議案ヲ採用スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本建議案ハ可決致シマシタ、日程第四、鐵
道速成ニ關スル建議案——提出者江原節君

第四 鐵道速成ニ關スル建議案(江原節君外三名提出)

鐵道速成ニ關スル建議案

鐵道速成ニ關スル建議案

一東北本線栃木縣下鹽谷郡寶積寺驛ヨリ分岐シ同縣下那須郡烏山町ニ至ル輕
便鐵道

右輕便鐵道ハ產業ノ發展ニ資シ交通ノ不備ヲ補フカ爲急設ヲ要スルモノト認ム政
府ハ速ニ調査ヲ遂ケ相當ノ處置ヲ採リ建設ニ著手アラムコトヲ望ム

右建議ス

○江原節君 極メテ簡單デスカラ自席ヨリ申上ゲマス、本建議案ノ要旨ハ東北本線
即チ上野驛ヨリ青森驛ノ中間栃木縣下鹽谷郡寶積寺驛ヨリ分岐シテ烏山町ノ輕便
鐵道、是ハ非常ナル交通上及地方ノ發達上必要ナルモノデアルガ故ニ、速ニ其建設ニ著
手セラレタシト云フ趣旨デゴザイマス、内容ノ理由ハ建議書中ニモ書イテゴザイマス、又
其關係スベキ町村人口戸數及旅舍、物資等ノ關係ノ詳細ノ事柄ハ相應ニ調査シタル
トコロノ調査ノ書類モゴザイマス、之ヲ一々申上ゲマスルコトハ甚ダ諸君ノ御耳ヲ煩ハス
譯ニナリマス、是ハ參考ノ書類トシテ速記録ニ御添付ヲ願ヒマス之ヲ以テ說明ニ代
ヘマス

(參照)

地方狀況調

一寶積寺烏山間沿道ノ狀況

本線路約十三哩ハ東北本線寶積寺驛ヨリ岐レ鹽谷郡及ヒ那須郡ノ一部ヲ經テ
烏山町ニ達ス其鹽谷郡ニ屬スル約五哩ハ平坦ニシテ殆ト水田ノ間ヲ通過ス此地
方ハ高根澤郷ト稱シ本縣有數ノ產米地タリ那須郡ニ屬スル部分ハ丘陵起伏スル
モ地味肥沃ニ住民稍密ナルヲ以テ耕耘周ク達シ各種農產及林產物アリ即チ沿
道ハ總テ農村ニシテ其生產物ハ別紙調書ノ通りトス

一烏山町ノ狀況

本町ハ戸數千二百餘戸ノ内十分ノ八ハ商工業者ナルヲ以テ金融機關トシテ銀行
二箇所ヲ有シ地方物貨集散ノ市場タリ

教育機關トシテ中學校一校アリ四十二年四月開校シ現在生徒數二百餘名アリ
工場ノ重ナルモノハ六箇所ニシテ男女職工千二百人ヲ使役ス

官衙ハ專賣支局出張所專賣局製造所支所警察分署區裁判所出張所郵便局
(電信電話取扱)アリ

産業ハ商工業者九百戸就中其重ナルモノハ煙草及和紙ナリトス煙草ハ收購製
造共ニ政府ノ經營ニ屬ス和紙ハ附近町村民ノ生產スル所ニシテ本町ニ同業組合
事務所ヲ設ケテ製産ノ改良發達ヲ計リツツアリ本業ハ古來家内工業ノミナリシ
近頃工場組織トナスノ傾向ニ進ミ本町ニハ既ニ二箇所ノ工場設置セラレ尙漸次
増設セラレントス

一關係地域ノ狀態

寶積寺烏山間交通機關布設ニヨリ多大ノ利便ヲ受クヘキ地域ハ別紙記載ノ二
十三箇町村ニ亘リ何レモ農產發達シテ米麥煙草等ヲ主產物トシ和紙蒟蒻粉椿
皮陶器等ノ特產アリ且山林ニ富ムヲ以テ木材薪炭ノ產出頗ル多額ナリトス其產
額ハ別紙調書ノ通りナルモ從來交通不便ニシテ多額ノ運賃ヲ要スル爲メ遠ク各
地ニ充分ノ販路ヲ開ク能ハス爲メ生產ノ發達ヲ阻害セラレ居ルノ狀態ナルヲ以テ
一朝烏山町ニ鐵道ノ開通セシカ地方ノ一帯ノ生產力ハ頓ニ發展シテ從來ニ幾倍

スルヤ計ルヘカラス

關係地域ノ内馬頭町大子町ハ市街地ニシテ其他ノ町村ト稍々狀況ヲ異ニスルニ
ヨリテニ現狀ヲ記述スヘシ

一馬頭町ノ現狀

本町ハ馬山町ノ東北二里餘ノ地ニアリ住民ハ農商相半ス

金融機關トシテ銀行一箇所アリ

工場ノ重ナルモノ五箇所アリ職工男女ヲ通シテ千人ヲ使役ス

官衙ハ專賣支局出張所專賣局製造所支所區裁判所出張所郵便局(電信電
話取扱)等ナリ

産業ノ主ナルモノハ木材薪炭繭等ニシテ又官業煙草製造工場アリ尙隣大山田
村ヨリ陶器ヲ産ス

一馬山町ノ現狀

大子町ハ馬山町ヨリ八里ヲ距ツト雖モ地勢上馬山町ニ連絡スヘキ地ニシテ古來
兩地間商業關係最モ密接ナリ金融機關トシテハ銀行二箇所ヲ有ス

官衙ハ專賣支局出張所、區裁判所出張所、警察分署等アリ

産業ハ楮皮及苧粉ヲ主産物トス

一關係區域内ニアル著名神社左ノ如クニシテ其大祭ニハ遠近ノ參詣者群集ス

鷺子神社 隆郷村ニ在リ
加茂神社 下江川村ニ在リ
八幡神社 境村ニ在リ

一遊覽地トシテハ從來交通不便ノ爲メ著名ナルモノナキモ 那珂川ハ夏時鮭鮎ノ類
約三千貫ノ漁獲アルヲ以テ遊漁地タルニ適スヘシ

旅客數調

一馬山寶積寺間ヲ通シテ

旅客 十萬一千四百八十八人

但本區間交通機關係區域内ノ居住者十萬八千三百十六人ノ十分ノ三ハ
年一回本區間ヲ乘車往復スルモノト計算シテ六萬四千九百八十八人及本區
域外ノ者ニシテ本區間ヲ乘車往復スルモノ一日平均百人此年計三萬六千五
百人ヲ見積リタリ

重要生産調

町	米	麥	大豆	煙草	材木	薪炭
那須郡	六四六	八四八	四三六	三六六八	五六〇	一〇四〇〇〇
馬山町	三、四四五	三、五五二	五五六	三九六四四	二二〇	二一、〇〇〇
向田村	三、二〇〇	八四七二	八〇六	八五三九七	六一五	六一、五〇〇
境村	三、七八四	三、八四〇	三八七	五五四四四	四九二〇	四九、二〇〇
荒川村	六、三九六	三、五一〇	九九九	三八一八九	八一三五	八一、三五〇
下江川村	六、九五七	五、四三〇	四二六	四八四六九	九、〇〇〇	九〇、〇〇〇
馬頭町	四、二五四	五、九一七	一一九〇	四七六六七	五四九〇	五四、九〇〇
那珂村	一、八三〇	一、〇五八	二六七	二六〇三八	七八〇五	七八〇、五〇〇
大山田村	四、三三六	三、七二七	二四四	四三二七〇	五四〇五	五四〇、五〇〇

品名	數量	噸數	品名	數量	噸數
武茂村	三、五二二	四、一〇四	薪炭	六、〇〇〇	二、二二二
大内村	二、七四〇	三、七二七	材木	三、七八〇	一、四〇〇
芳賀村	四、一三〇	三、三三〇	紙	一、六〇〇	一、四〇〇
須賀村	四、〇五五	三、一一五	草煙草	五、二〇〇	一、〇二六
中川村	三、三四五	八、二二五	刻煙草	一、九六〇	三、六八九
鹽谷村	二、〇五三	九、五三八	粉苧	三、三六〇	一、二四四
阿久津村	一九、二三八	一〇、九七八	楮皮	一、七八五	三五〇
北高根澤村	三、八五三	一五、六八〇	下駄甲貨	九四五〇	三五〇
茨城縣那珂郡	一、九六二	六、七六〇	雜貨	三、五〇〇	三五〇
那珂郡	一、五六九	五四〇〇			
小瀨村	二、五〇〇	五、五一〇			
檜澤村	一、五〇〇	三、六一〇			
同縣久慈郡	一、六一〇	五、二五〇			
大子町	三、五五〇	四、四二七			
依上村	一、四九七	二、六〇一			
總計	一四、四七六	二六、〇一〇			

一馬山寶積寺間交通機關完成ノ曉同線路ニヨリテ輸出入貨物ノ豫算左ノ如シ

輸出入貨物調

品名	數量	噸數	品名	數量	噸數
石油	一五、〇〇〇	五三六	薪炭	六、〇〇〇	二、二二二
砂糖	一五、〇〇〇	五五五	材木	三、七八〇	一、四〇〇
食鹽	四、四〇〇	二、七五〇	紙	一、六〇〇	一、四〇〇
海產物	一、五〇〇	五、五五五	草煙草	五、二〇〇	一、〇二六
肥料	二、八三五	一〇、五〇〇	刻煙草	一、九六〇	三、六八九
織物	一〇、八〇〇	四〇〇	粉苧	三、三六〇	一、二四四
青蘆	五六七〇	二一〇	楮皮	一、七八五	三五〇
雜穀	五六七〇	二一〇	下駄甲貨	九四五〇	三五〇
葉煙草	一五、〇〇〇	一九一	雜貨	三、五〇〇	三五〇
刻煙草	一五、〇〇〇	一九一			
鐵物	一〇、〇〇〇	三七〇			
雜貨	一、三六〇	五、〇三七			
計	一、三六〇	二六、七三九			

明治四十三年十二月三十一日現在戶口調

郡名	町村名	戶數	人口	郡名	町村名	戶數	人口
那須郡	馬山町	一、一七	四、九八五	武茂村	武茂村	四七一	二、八六五
馬山町	向田村	四二二	四、九八五	大内村	大内村	四〇九	三、三七一
境村	境村	七〇八	三、二九八	小貝村	小貝村	四〇二	三、三七五
荒川村	荒川村	六四〇	五、三二六	大田村	大田村	五八八	四、五九四
下江川村	下江川村	八二六	四、二三八	須賀村	須賀村	六〇三	四、六九二
馬頭町	馬頭町	一、〇一五	五、〇六七	中川村	中川村	七九八	六、二二三
那珂村	那珂村	六九〇	六、四二七	阿久津村	阿久津村	四八五	四、三七五
			五〇七〇	北高根澤村	北高根澤村	九五七	八、三三一

英城縣 薩 鄉村 六六五 四五六四 同縣 大子町 七一〇 四二七六
那珂郡 八里村 五三二 四一四二 久慈郡 依上村 四八五 二九一一
小瀨村 五五八 三六三一
檜澤村 四九五 二九九四 總計 一五〇二七二〇八三一六

○恆松隆慶君 本建議案ハ曩ニ北海道拓殖經營ニ關スル建議案ガ委員ニ付託シテアリマス、其委員ニ此案ヲ付託セラレント望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ御動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナシレバ本建議案ハ北海道拓殖經營ニ關スル委員會ニ付託スルコトニ可決致シマス、日程第五、農業金融ニ關スル建議案、恆松隆慶君

第五 農業金融ニ關スル建議案(恆松隆慶君外九名提出)

農業金融ニ關スル建議案

從來農村ノ金融圓滑ヲ缺キ金利亦頗ル高ク農民ノ土地抵當債務ノミヲ計上スルモ七億圓以上ノ巨額ニ達ス此ノ短期高利ノ債務ハ容易ニ之ヲ償還スルノ途ナク却テ益增加スルノ狀アリ是レ或ハ農民負擔ノ過重ト農家經濟ノ宜シキヲ得サルトニ起因スヘシト雖畢竟農業金融ニ關スル政策ノ盡ササルニ依ラスムハアラス

今ヤ農村ノ發達ト農家經濟ノ整理トハ實ニ國家ノ根本ノ重要問題ナリ政府ハ曩ニ勸業農工等ノ特殊銀行ヲ設ケ或ハ産業組合ヲ獎勵シ或ハ低利資金ノ貸付ヲ爲サシムル等各種ノ方策ヲ講シタルモ未タ其ノ目的ノ一半ヲモ達スルニ至ラス動モスレハ却テ之ヨリ遠サカラムトスルモノアルハ本院ノ深ク遺憾トスル所ナリ須ク適當ナル機關ニ依リテ潤澤ナル資金供給ノ途ヲ開クニ非サレハ到底本問題ヲ解決シ得サルモノト認ム政府ハ宜シク意ヲ茲ニ致シ農業金融ニ關シ充分ナル調査ヲ遂ケ少クモ左記各項ニ對シテハ速ニ實行ノ方法ヲ講セラレムコトヲ望ム

一預金ノ運用若ハ其ノ他ノ方法ニ依リ一層低利資金ノ供給ヲ潤澤ナラシムルコト

一現在ノ特殊銀行又ハ特ニ適當ナル機關ヲ設ケ之ヲシテ資金運用ニ關スル便法ヲ講シ資金融通ヲ容易ナラシムルコト

右建議ス

(恆松隆慶君登壇)

○恆松隆慶君 本日程ニ上ッテ居リマス農業金融ニ關スル建議案ノ大體ノ説明ヲ極ク簡單ニ申述ベシテ、諸君ノ御同情ヲ得タイト思ヒマス、是ハ從來農村ノ金融ガ未ダ圓滿ヲ缺キマシテ、金利頗ル高キガタメニ農民ノ土地擔保トシテ債務ニ計上致シテ居ルモノガ、七億萬圓以上ト云フ今日巨額ニ上ッテ居リヤウナ有様デアリマス、容易ニ此債務ヲ償還スルノ途ガナイノデ、殊ニ地方ニハ困ッテ居リマス、却テ債務ガ増加スル傾ガアルノデアリマス、是等ハ畢竟スルニ農民ノ負擔ノ過重トカ、或ハ農事經營ノ宜シキヲ得ザルトカ、何カ原因スルコトデアラウト思ヒマス、又政府ハ既ニ此議會ノ意思モ容レマシテ、勸業銀行、農工銀行等ニモ亦産業組合等ニモ獎勵致シマシテ、幾分ノ低利ノ貸付ノ途ヲ開イテアリマスガ、未ダ之ヲ以テ完全ト認メラレナイノデアリマス故ニ、此農業

金融ニ關シテハ十分ニ調査ヲ遂ケラレテ、相當ノ計畫ヲ設ケテ貫ヒタイト云フコトハ吾ガ希望スルところデアリマス、此希望ノ要點ハ茲ニ二ツゴザイマス、先ツ預金ノ運用其他ノ方法ニ依ッテ一層低利ノ資金ノ供給ヲ潤澤ナラシムルコト、又特殊銀行又ハ特ニ適當ナル機關ヲ設ケ、之ヲシテ資金運用ニ關スル便法ヲ講ゼシメ、資金ノ融通ヲ容易ナラシムルコト、云フ希望デアリマス、是ハ現在耕地整理トカ、産業ノ組合トカニ向ッテ約一千万圓、ソレカラ此地方團體ニ貸付金ガ内務省カテ一千万圓、都合二千万圓是等ニ向ッテノ運用ガアリマスケレドモ、是ハ十分ニ認メラレマセヌカラ、相成ベクハ三千万圓位ノ資本ガ運轉スルコトニナリマシタラ、幾分力潤澤ノ途ニナルデアラウカ、又現在勸業銀行ナリ農工銀行デ貸付ケルモノハ多ク對物貸付デアリマス、擔保ナドヲ取リマス、是ハナカク貸付モムツカシウゴザイマス、借手モムツカシイ、是等ノコトハ特ニ産業組合ノ銀行トカ云フヤウナ機關ヲ設ケテ、對人貸付ノ方法ヲ開クトカ、擔保ニ依ラズシテ便法ノ貸付ヲシテ、高利ノ金ヲ低利ノ金ト借換サセルヤウナ便法ヲ設ケテ、農村ノ發達、農家ノ經濟ヲ整理セシムルノガ、實ニ國家根本ノ重要ノ問題ナリト信ジマス、是等ノコトハ免ニ角委員ニ付託シテ十分政府ト交渉ヲ致シマシテ、而シテ相當ノ計畫ヲ立テラレタガ宜カラウト云フ考デ、大體ハ此建議案ニ詳シク書イテゴザイマスルカラ、ドウカ改メテ希望ヲ致シマスガ、此案ハ特ニ議長指名九名ノ委員ニ託セラレマシテ、サウシテ(拍手笑聲起ル)十分審議ノ上可決セラレント云フ併セテ希望致シテ置キマス

(異議ナシ異議ナシト聲起ル)

○議長(大岡育造君) 恆松君ガ説明ノ後、更ニ委員付託ノ動議ヲ御提出ニナリマシタガ、之ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第六、鐵道建設ニ關スル建議案、提出者根本正君

第六 鐵道建設ニ關スル建議案(根本正君外八名提出)

鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議案

一茨城縣下水戸ヨリ分岐シ福島縣下水戸及郡山方面ニ接續スル鐵道

右ハ産業ノ發達交通ノ不備ヲ補フ爲ニ必要ニシテ且奥羽線及岩越線ト水戸線ト連絡上必要ナリト認ムルニ依リ政府ハ速ニ調査ヲ遂ケ相當ノ處置ヲ採ルヘシ

右建議ス

(根本正君登壇)

○根本正君 本鐵道ハ茨城縣下水戸ヨリ分岐シ那珂郡瓜連、大宮、山方、及久慈郡上下小川、袋田、大子ヲ貫通シテ福島縣下水戸及郡山方面ニ接續スル鐵道、白河及郡山方面ニ達スル鐵道敷設ノ建議案デゴザイマス、本建議案ハ昨年モ提出致シマシテ、諸君ノ御贊成ヲ得マシテ、通過致シマシタノデアリマスガ、益々此鐵道ノ敷設ノ必要ナルコトヲ感ジマシテ、速ニ本線ノ建設ニ著手シタイト云フ建議案デアリマス、此線路ハ四十五哩間ノ間ニハ鐵道ガアリマセヌデス、此地方ハ非常ニ煙草ノ出來ル處デ、大

宮町ト云フ處ニ收納所ガアリマス、又大子町ニモ收納所ガアル、又福島縣ノ白河町ニモ收納所ガアル、斯ウ云フ風ニ農産ニ於キマシテハ、小麥其他總テノ農産ガアルノミナラズ、非常ニ煙草ノ生産力ト云フモノガ、多額ニ上ツテ居ルノデアリマス、之ニ附加ヘマシテ此地方ニハ八溝山ト云フ山ガアリマシテ、此山ハ茨城縣、栃木縣、福島縣ト三縣ニ亙ツテ居ルトコロノ山デ、官林バカリモ一万五千町歩モアルト云フヤウナ譯デ、森林鬱々トシ

○平島松尾君 質問ガアリマス

○議長（大岡育造君） 平島松尾君

○平島松尾君　チヨット提出者ニ伺ヒタイ、此水戸ヨリ分岐シテ白河及郡山方面トアリマスガ、此白河ト郡山ト兩方ニハ通スルト云フ趣意デアリマスカ

○根本正君 御答ヲ致シマス、此線路ニ付キマシテハ 昨年九月十三日ヨリ鐵道院ニ於キマシテハ最モ必要ナル線路トシテ踏査モサレ又十月十四日ヨリ今月ノ十四日マデ掛ッテ測量ヲサレタヤウニ思ハレマス、然ルトコロ此建議案ハ昨年白河ト云フコトデ建議致シマシタ、併ナガラ此大體ノ地方ヨリ通ルノデ測量ノ上經濟ニシテ、且國家ニ最モ利益アル線路ヲ選ンテ譯デアリマスカラシテ、白河ハ著スルカ、或ハ郡山ハ著スルカハ、測量ノ上讓シ且國家ノタメニ最モ利益アル處ヲ選ブモノデアリマス、恐ラクハ此白河及郡山ノ間

ニ須賀川ト云フ所ガアリマスガ、或ハ其邊デモアラウカト推測モ出来マスカラ、白河或ハ郡山ト云フ方面ヲ示シテ、其最モ國家ニ利益アル處ニ敷設スルノデアリマスカラ、是ニテ御了解ヲ願ヒマス。

○平島松尾君　サウスルト「及」ト云フ字ハ「若クハ」或ハ「ト云フ意味ニ解釋シテ宜イデスカ

○根本正君 思召シノ通りニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○恆松隆慶君 本建議案モ總テ期ウ云類ハ北海道拓殖經營ニ關スル建議案ノ委

員ニ付託スルニナカテ居ルノスカラ 本案モ其委員ニ付託セラレシニテモ希望至マ
ノ議長(大岡育告君) 五公多慶君ノ勸議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議アリ〕下乎ヲ答アリ

○議長(大岡育造君) 御異議が

案ノ委員會ニ付託スルコトニ可決致シマシタ、日程第七、神社行政統一ニ關スル建議

第七 神社行政統一ニ關スル建議案（早川龍介君提出）

神社行政統一 二關スル建議案

神社行政統一ニ關スル議建

神社二關

人議ス

○早川龍介君 極メテ簡單ニ申シマシテ御賛同ヲ得タイト思ヒマス、既ニ曩ニ大津君カラ建議ガ出テ居リマスノデゴザイマシテ、甚ダ同ジヤウナモノヲ兩方カラ出シマスルト云フ御疑ガアリマセウト存ジマスノデ、其點ニ付キマシテチヨット一言申上ゲテ置キタイ、大津君ノ御提出ニナリマシタノハ神祇崇敬ニ關スルト申シマス、因ヨリ此日本國民ガ神祇ヲ崇敬致シマスルト申シマスコトハ、是ハモウ何人モ能ク承知シテ居ルコトデゴザイマスルガ、茲ニ私ノ出シマシタノハ行政統一ト申シマスノデ、御承知ノ通りニ總テ神社ハ内務省ノ所屬ニナツテ居リマスケレドモ、靖國神社ノ如キハ海陸軍ノ所轄ノヤウニナツテ居ル、臺灣神社ハ臺灣總督府ノ所管ニナツテ居ル、又樺太神社ハ樺太廳ノ所管ニナツテ居ルト申スヤウナ具合ニナツテ居リマス、ドウモ同ジ神社ヲ統轄致シマスル處ガ、イロ／＼ニナツテ居リマスルノハ甚ダ一般ノ感ヲ來シマスルシ、宜シクナイコトデアラウト存ジマスル故ニ、是等一ツノ場所ニ於テ統轄ヲ致シテ貰ヒタイ、併セテ此神社ノ崇敬ノコトニ付キマシテハ、是ハ何人モ異存ノナイコトデアリマスルケレドモ、併シ其親ミニ忤レマスルト、終ニ崇敬ノ實行ヲ怠ルヤウニナリマス、デ是ハ無論併セテ崇敬ノ途ヲ尙明カニシタイト申ス案デゴザイマス、ドウゾ御賛同下サレンコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君 本建議案ハ曩ニ神社崇敬ニ關スル建議案ガ委員付託ニナツテ居リマス、同一ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

○恆松隆慶君 本建議案ハ曩ニ神社崇敬ニ關スル建議案ガ委員付託ニナツテ居リマス、同一ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

1. The first part of the paper is devoted to the study of the asymptotic behavior of the solutions of the system (1) as $\epsilon \rightarrow 0$. It is shown that the solutions of the system (1) converge to the solutions of the system (2) in the sense of the weak convergence in the space $L^2(\Omega; \mathbb{R}^n)$.

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ナシレバ本建議案ハ曩ニ神社崇敬ニ關スル建議案ヲ付託シタル委員會ニ付託スルコトニ可決致シマシタ、日程第八、直江津開港ノ建議案、提出者水品平右衛門君

第八 直江津開港ノ建議案(水品平右衛門君外四名提出)

直江津開港ノ建議案

直江津開港ノ建議案

直江津ハ帝國主都ノ後門ニ當リ露清貿易ノ基點タル地位ニ在リ殊ニ近年陸上交通機關ノ設備ハ此ノ地ヲ聯絡上ノ要地トシテ各方面ヨリ聚中シ來リ自然ニ商業取引ノ中心點タルシムルモノ有リ爲ニ外國出入ノ貨物ハ年ト俱ニ増加シ現實日本海ニ面スル他ノ開港地ニ比シ遜色無キ統計ヲ示スニ至レリ然ルニ此ノ地未タ開港ニ至ラサルヲ以テ稅關ノ手續上貨物船ヲ他ノ開港地ニ寄航セシメサルヘカラサル爲航路ノ變更ヲ要スル等無用ノ日子ト費用ヲ徒消セシメテ海運界ニ多大ノ損失ヲ與フル結果ハ輸出入品ニ少カラサル惡影響ヲ及ホシ延テ地方殖産興業ノ進路ヲ阻止スルコト鮮カラス依テ政府ハ速ニ之ヲ開港シテ輸出入上ニ横ハレル一大障礙ヲ除キ以テ地方開發ノ進路ヲ啓キ國家富強ノ資ニ供スルアラムコトヲ望ム

右建議ス

(水品平右衛門君登壇)

○水品平右衛門君 簡單ニ建議ノ趣意ヲ説明致シマス、直江津ハ日本海沿岸ニ於ケル最モ樞要ノ港デゴザイマス、即チ前面ニ於キマシテ海ヲ隔テ、露西亞ト相對シ、一面ニ清國ト相應ズル、此露清兩國ニ對シテハ貿易上最モ至便ノ地位ヲ占メテ居ルノデゴザイマス、加フルニ此後方ニハ最モ生産力又購買力ニ富シテ居リマストコロノ越後、信州、甲州、常武地方ヲ控ヘテ居リマシテ、此方面ニ需用致シマストコロノ肥料、若クハ外國米其他大豆ノ類ハ多ク此直江津港ヨリ輸入致スノデゴザイマス、即チ最近ノ統計ニ依リマシテ明治四十二年ノ調ガ七十五萬圓、ソレカラ四十四年ノ調ガ九十八萬圓、即チ百萬圓近クニ上ッテ居リマスト、他ノ餘り振ヒマセストコロノ開港地ヨリハ遙ニ多キ統計ヲ示シテ居ルノデゴザイマス、殊ニ此地ハ近年陸上運輸交通ノ機關ガ非常ニ開ケマシタ結果、一方信越線及北越線ノ聯絡點ニナッテ居リマス、又更ニ近ク本年中ニ開通ニナリマストコロノ富直線モ此地ニ於テ聯絡スルコトニナッテ居リマストカラ、自然此海陸雙方ノ聯絡上此方面ノ商業上ノ中心ニナリマシテ、此港ニ依ッテ輸出入ノ貿易ヲナスコトガ、一層頻繁ニナラウト云フ實況ヲ呈シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此直江津ハ此ノ如キ地理的景勝ノ好イ地ヲ占メテ居リナガラ、尙不開港ナルノデアリマス、開港地ニナッテ居リマセヌタメニ、此地ニ輸入スルモノノ貨物船ハ總テ門司デアルトカ、或ハ小樽デアルトカ、其他ノ開港地ヲ經由スルタメニ、航路變更上少ナカラヌ時日ト餘計ナ費用ヲ要スルノデアリマス、之ガタメニ此商人ノ受クルトコロノ損害ト云フモノハ少ナクナイノデゴザイマス、又稅關地ヨリ直江津ニ到ル納稅額ニ對スル割増金ノ保險料モ出サナケレバナラヌト云フ不利益モアルノデアリマス、ソレカラ關稅納金後、直江津ニ到著致

シマシタ後、品物ノ損傷ヲ發見致シマシタ場合ニ於テモ更ニ免稅ヲ求ムルノ方法ガナイト云フヤウナ實際ニナッテ居ルノデゴザイマス、旁々此ノ如キ景勝ノ地、便利ノ地デアリナガラ開港地デナイタメニ、非常ナ不利益ヲ被ッテ居ル、其不利益損害ハ詰リ其貨物主其入ノ損害ノミニ止マラズシテ、多ク此品物ヲ需用スルモノ甲信、越後、常武地方ノ需用者ニ及ブノデゴザイマス、殊ニ此輸入品ノ中ニハ此日本ノ國產ノ首位ヲ占ムルトコロノ生絲ノ源泉ヲナストコロノ桑ノ肥料等最モ多キヲ占メテ居ルノデゴザイマス、此土地ノ直江津ノ開港ニ得ザルタメニ受クルトコロノ直接間接ノ不利益ト云フモノハ非常ナモノデゴザイマス、此ノ如キ實況デアリマスガ故ニ、地方ノ縣會若クハ商業會議所等ニ於キマシテハ、切ニ此不便ヲ感シマシテ、屢々決議ヲ致シテカラニ其筋ニ上書建白等ヲ致シタコトモアルノデゴザイマス、近クハ本院ニ對シマシテモ數回ノ請願ヲ致シマシテ、何時モ採擇ニナッテ居リマストコロノデゴザイマスガ、政府ハ未ダ此地ニ稅關ヲ設クルコトニ至リマセヌノデ、甚ダ地方ノ開發上ニ障礙ヲ與ヘテ居ルノデゴザイマス、成程之ヲ開港スルニ付テハ稅關其他ニ付、多少ノ費用ハ要シマスルケレドモ、併シ之ガタメニ開港後ニ受クルトコロノ利益ヲ計算致シマスレバ、豫測致シマスレバ決シテ些々タル關稅ノ費用——稅關設置ノ費用位ニハ代ヘラレナイ、大ナル利益ガアラウト信ズルノデゴザイマス、即チ先ツ開港後ノ實際ヲ豫想致シマスレバ、之ヲ開ク同時ニ「カムサツカ」及「ニコライスク」方面ニ向ッテ米穀及雜貨若クハ野菜類ノ輸出ハ非常ニ多カラウト思フノデゴザイマス、又彼ノ地カラ輸入スル品物モゴザイマセウ、即チ此開港同時ニ此方面ニ向ッテ「ツノ」新シイ貿易上ノ進路ヲ開クトコロノ利益ガアルノデゴザイマス、尙追々開發致シマストコロノ朝鮮ノ農產物若クハ肥料ノ類モ直接ニ此港ヲ經テ甲信地方若クハ越後方面ニ入ルノデゴザイマスルカラ、此方面ハ開港同時ニ非常ニ低廉ナル——現在ニ比シテ非常ニ低廉ナル總テノ物資ヲ需用スルコトガ得ルノデアリマストカラ、其結果ハ地方ノ殖産上、生産上ニ非常ノ公益ヲ及ボスノデゴザイマストカラ、願クハ此陸地交通運輸機關ノ進歩ト共ニ一面此地ヲ開港致シマシテ、サウシテ地方ノ富源ヲ開發スルコトニ致シタイ希望ヨリ此建議ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、何卒御贊同ヲ切ニ希望致シマス

○恆松隆慶君 本建議案ハ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本建議案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ……日程第九、七尾灣築港ニ關スル建議案、提出者戸水寛人君

第九 七尾灣築港ニ關スル建議案(戸水寛人君外五名提出)

七尾灣築港ニ關スル建議案

七尾灣築港ニ關スル建議案

日本海沿岸ニ於ケル天然ノ良港灣タル能登國七尾ノ築港ヲ急設セラレムコトヲ望ム右建議ス

(法學博士戸水寛人君登壇)

○法學博士戸水寛人君 諸君、七尾灣築港ニ關スル建議案、此提出ノ理由ヲ申上

タイノデアリマス、日清戦争、日露戦争、此二ツノ戦役ノ結果ハ日本ガ海外ニ國威ヲ宣揚スルコトガ出来タノミナラズ、直接日本ノ勢力ヲ亞細亞大陸ニ發展セシムルコトガ出来タノデアリマス、サウナリマスニ云フト此日本ノ中デモ北日本、裏日本ト云フヤウナモノ、事情ガ段々ニ變テ來ルノデ、北日本ハ即チ亞細亞大陸ト相對シテ居ルデアリマス、カ、亞細亞大陸トノ貿易ガ盛ニナリ、關係ガ密接ニナルニ從テ、北日本ノ地位ガ益々變テ來ル、其結果又北日本ニアルコロノ灣港ガ益々重キヲ加ヘテ來ルデアリマス、日本ニ於テハ此北日本ノ灣港ヲ大ニ改良シナケレバナラヌト云フコトニナルノデス、其灣港ノ中ニハいろ／＼アリマス、ケレドモ、能登ノ七尾ノ灣ノ如キハ今日大ニ改良ヲ要スルヲ考ヘマス、地圖ヲ細イテ一瞥致シマシテモ、七尾灣ト云フ所ノ狀況ハ略々想像ガ出來ルデアリマス、灣ガ廣クテ水深イ、此ノ如キ灣ハ餘リ餘計ニ無イ、然ルニ是マデ此七尾灣ガ格別用ヲ爲サナカッタ原因ヲ申シマス、七尾灣ノ入口ニハ幾多ノ暗礁ガアッタノデス、ソレデ石川縣ニ於テハ近頃此暗礁ヲ取除ケネバナラヌト云フノデ、縣費ヲ以テソレヲ取除ケツ、アル、且又燈臺ヲ設ケルコト云フヤウナコトヲ致シマシテ、船舶ノ出入ニ便利ニシテ居ルノデアル、ソレガタメニ七尾ニ出入スルコロノ船ノ數モ段々多クナリ、貨物モ段々餘計ニ出ルヤウニナッタノデス、ケレドモ縣費ヲ以テ此灣ノ改良ヲ圖ルト云フコトハ甚ダ困難デゴザイマス、更ニ一步ヲ進メテ國費ヲ以テ此改良ヲ圖リテ欲シト云フノデアリマス、又國費ヲ以テ全部其改良ニ充ツルト云フコトガ困難ナルナラバ石川縣ニ於テ費用ヲ投スル際ニ國費ヲ以テ之ヲ補助スルト云フコトニナツテモ宜イノデアリマス、免ニ角斯ウ云フコトヲ建議スルノデアリマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒタウゴザイマス、拍手起ル

○恆松隆慶君 此案ハ前ノ日程、直江津開港ノ建議ト同一ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ナケレバ本建議案ハ直江津開港ニ關スル建議案ノ委員ニ付託スルコトニ可決致シマタ、日程第十、金澤高等工業學校設立ニ關スル建議案、戸水寛人君

第十 金澤高等工業學校設立ニ關スル建議案(戸水寛人君外四名提出)

金澤高等工業學校設立ニ關スル建議案

金澤高等工業學校設立ニ關スル建議案

方今高等工業學校ノ増設ハ甚必要ナルモノアリ而シテ石川縣金澤市ノ如キハ之ヲ設立スルニ最適當ナル場所ナリト認ム因テ成ルヘク速ニ之ヲ設立セムコトヲ望ム

右建議ス

(法學博士戸水寛人君登壇)

○法學博士戸水寛人君 諸君、此案モヤハリ私ガ説明申上ケルノデアリマス、世界ノ交通機關ガ段々盛ニナツテ來タ以上ハデス、太平洋ガ即チ世界ノ競争場ニナルト云フコトハ論ヲ俟タナイコトデアル、又千九百十四年即チ再來年ニナリマス、云フト巴馬運河ガ開通出來ルト云フコトデアリマス、サウナリマス、此太平洋ニ於ケル

列國ノ競争ハ益々激烈ニナルト云フコトハ想像スルニ難カラナイ、日本ガ此競争ニ從事センガタメニ、日本ノ商業教育ヲ盛ニシナケレバナラヌ、農業ノ教育モ盛ニシナケレバナラヌ、又工業ノ教育モ大ニ盛ニシナケレバナラヌト私ハ考ヘマス(ヒヤ／＼)今後工業ノ教育ヲ盛ニスルニ付テハ、高等工業學校ノ増設モ必要ナル、之ヲ増設スルニ付テハ日本ニ於ケル學校ノ分布圖ヲ見ルト云フコトガ必要ナル、高等工業學校ニ適當スル位ノ學校ヲ見ル、其分布圖ヲ作ッテ見ルト云フト、東北ノ方ニハ此階級ノ學校ガ隨分アル、京阪ノ方ニモ隨分アル、九州ニモヤハリアル、獨リ北陸デケサウ云フ學校ガ一つモ無イノデアリマス、是ガ甚ダ遺憾ニ思フ所デアリマス、ドウシテモ此北陸ニ一つ拵ヘナケレバナラヌト思フ、ソレヲ拵ヘルニ付テハ石川縣ノ金澤ノ如キハ之ヲ拵ヘルニ最適當ナル場所ノ一つニ算ヘル、此金澤ノ狀況ヲ見マス、昔カラ金澤ニ於テハ美術ガ盛ンデアツテ、工業ガ可ナリ發達シテ居ルノデ、一々ソレヲ列舉スルニハ及バヌデアリマス、ウガ、免ニ角工業ハ可ナリ發達シテ居ツタ、其結果デゴザイマセウカ、金澤ニ於テハ明治二十年ニ縣立ノ工業學校ヲ拵ヘタルノデ、ソレガ可ナリ盛ニナツテ居リマス、卒業生モ大ニ用ヲ爲シテ居ルノデス、ケレドモソレヲ更ニ一步ヲ進メテ國立ノ高等工業學校ト云フモノニシタナラバ、其結果ハ甚ダ好カラウト思フノデアリマス、ドウゾ此事ニ御賛成アラシコトヲ請ヒマス(拍手起ル)

○恆松隆慶君 本建議案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 本建議案ヲ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ其如ク決シマシタ、日程第十一、私設運河築港ニ關スル建議案、漆昌巖君

第十一 私設運河築港ニ關スル建議案(漆昌巖君外一名提出)

私設運河築港ニ關スル建議案

陸上交通機關ノ發達ハ固ヨリ必要ナルモ四面環海我カ邦ノ如キニ在リテハ水上運輸機關海陸連絡等ノ設備ヲ忽諸ニ付スヘカラサルハ自明ノ理ナリ然ルニ近時運河、築港ニ關スル事業ヲ企畫スルモノ頻出セルニ拘ラス之ニ關スル法規トシテハ明治四年太政官布告第六百四十八號ノ外何等據ルヘキ法令ナキハ遺憾ナリ茲ニ完全ナル法律ヲ制定シ此ノ種ノ事業ヲ保護獎勵シ以テ國運ノ進暢交通機關ノ發展ヲ謀ルハ目下ノ急務ト信ス政府ハ速ニ之ヲ調査ヲ遂ケ相當ノ案ヲ具シ帝國議會ニ提出セムコトヲ望ム

右建議ス

○漆昌巖君 極ク簡單デアリマス、此カラ申上ゲマス、此私設運河築港ニ關スル建議案ハ誠ニ簡單ナル建議案デアリマス、此海陸ノ運輸機關ヲ十分ニスルト云フコトハ何人モ異論ノナイコト、考ヘマス、然ルニ海ニハ航路補助法ト云フモノガアリ、陸ニ

ハ私設鐵道條例ト云フモノガアリ、又近頃ハ輕便鐵道ト云フ法律モ出來テ居リマス、然ルニ此間ニ於テ水陸ノ連絡ヲ取ラントスル築港運河ト云フモノニ向テハ其法律ガ制定サレテ居ナイト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ考ヘマス、固ヨリ政府ノ所管ニ屬スル運河トカ築港トカ云フモノハ別段デゴザイマスルガ、國費ニ限リガアッテ政府ガ順タトシテ此運用ガ出來ルト云フノデゴザイマセヌカフ、吾々ハ民間ニ在ッテ有志ノ企業者ガ出來得ルヤウニ、私設運河築港ト、斯ウ云フモノニ對スル法案ヲ制定シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ趣意ニ外ナラヌノデゴザイマス、ドウゾ政府ハ速ニ相當ノ調査ヲ遂ゲラレテ、帝國議會ニ提出シテ、此案ヲ制定サレシコトヲ望ムト云フ建議案ノ趣意デゴザイマス、之ニ付キマシテハ尙日本ノ川其他ニ付テ調ベタモノモゴザイマスカラ、之ヲ參考書類トシテ速記録ニデモ載セマシテ諸君ノ御一覽ニ呈サウト考ヘマスカラ、宜シク御贊成ヲ請ヒマス

(參照)

大凡海ノ利用ヲナシ能ハサル國ハ霸ヲ天下ニ爭フコト能ハス是レ近來各國共ニ爭フテ全力ヲ海ニ注ク所以ナリ而シテ其全力ノ強弱如何ハ一國經濟ノ勝敗ヲ決スル根原ナルカ故ニ何レノ國ニ於テモ海商ノ發展ヲ計ル爲メニ港灣ヲ修築シ、船客船貨ノ積ミ卸シヲ敏速ニシ快速ナル大船巨舶ヲ造リ海上ノ來往ヲ迅速ナラシメント企テサルナシ蓋シ往昔ノ港灣ナルモノハ、船舶カ暴風ヲ避クル爲メニ入港碇泊セルモノナルモ二十世紀ノ港灣ハ世界ノ大船巨舶ヲシテ迅速ニ荷物ノ揚ケ卸シヲシテ如何ニ完全ナル築港設備ヲ要スルトスルモ客貨ノ集散市場ニ聯絡スルニアラスハ到底港灣ノ效能ヲ發揮スル能ハス是レ往々地勢ニヨリテ港灣ト市府ト間ニ於ケル水運ノ連絡即チ運河ノ開鑿ヲ必要トスルニ至ル所以ナリ而シテ運河ハ鐵道ニ比シテ快速ニ物品ヲ輸送スル能ハサルモ其運搬力ノ絶大ナルト其運賃ノ低廉ナルト船舶ニ依リテハ積換ノ手續ヲ要セスシテ其儘市府へ運輸スルノ利便アルト到底鐵道ト同日ノ談ニアラス由來農業、林業、鑛業等ノ發達進步カ運河ニ依賴スルコト甚大ナルハ是レカ爲メナリ古代人智ノ開發セサル時ニ於テハ專ラ天然ノ河流ヲ利用シタルモ二十世紀ノ今日ニ於テハ天然ノミニ依賴スル能ハス更ニ人工ヲ以テ水路ヲ開鑿スルヲ要スルモノ少ナカラス古代隋ノ煬帝ハ一大運河ヲ開鑿シテ支那ノ經濟的發達ニ一大功績ヲ示シ我々仁德天皇ハ難波ニ濠ヲ穿タシメラレテ大ニ水利ヲ便ニセラレ又平清盛ハ音戸ノ瀬戸ヲ開鑿シテ舟行ニ利便ヲ與ヘタリ又徳川家康江戶府ヲ開キテ以來江戶ノ地ノ大繁榮ヲ來セシハ其原因種々アリト雖トモ其最タルモノハ各所ニ堀ヲ穿テ水利ノ便ヲ計リ而シテ一方所々水面ヲ埋立テ商工取引ニ便ナラシメシニ因ルヘシ元來江戶ノ地タルヤ元平河村室田村等ノ小村落アリテ西丸城下ハ何レモ海ニ瀕シ現今ノ築地ハ勿論日本橋ノ茅場町、淺草茅町等モ皆ナ海面ニ接シ彼ノ隅田村、三河島等ハ何レモ島地ナリ今ハ駿河臺ト九段ノ間ニ一大川流アリテ渡舟ノ便ヲ借リテ往來シタリシヲ徳川氏入府以來漸次之ヲ埋立テ或ハ堀ヲ穿チナトシテ專ラ運輸交通ノ利便ヲ計リ以テ今日ノ繁榮ヲ見ルニ至ラシメタリ而シテ現今獨逸ノ實業的發達カ運河ニ負フ所大ナルハ何人モ知ル所ニシテ同國カ千八百七十一年以來改修セル運河ハ延長九千哩ニシテ其内新ニ開鑿セルモノ千二百哩アリテ今後益々運河ノ擴張ニ努力スル方策ナリト云フ夫レ獨逸工業ノ進步快速比ナシト稱セラレツ、アルハ則チ此運河ニ依リテナリ而シテ農業亦繁榮ヲ保チテ能ク經濟上ノ調和ヲ失ハサルコトヲ得ルニ至ルコトハ主ト

シテ亦此運河ノカト云ハサルヘカラス之レニ反シテ英國ハ「リバプール、マンチエスター」間及其他ニ運河多キ地ナレトモ國內ノ大鐵道會社カ其競争力ノ絶大ナルヲ忌ミテ之ヲ買收シ遂ニ運河ヲシテ發達スルコト能ハサラシメ爲メニ農業ノ衰退ヲ來タシ遂ニ國內ニ於ケル食料品ノ八割ヲ外國ヨリ仰クノ已ムナキニ至レリ又工業ニ於テモ一面獨逸ニ凌駕セラレ工業國トシテ英國カ今ヤ殆ント人後ニ墮著タラントスルノ觀ナキニアラス畢竟運河開鑿ノ發達カ其國ノ産業ノ盛衰興亡ニ大關係アルヲ示スモノト云フヘシ

殊ニ日本ノ如キハ土地ノ傾斜甚タ急ニシテ山脈縱橫岡陵起伏セルカ爲メ天然河流ヲ運河ニ利用スヘキモノ甚タ稀ニシテ是レ水路運搬業ノ甚タ振ハサル所以ナリトス今我邦ニ於ケル重ナル河川ヲ舉クレハ左表ノ如シ

著名大河川(×印ハ內務省ノ調査ニ係ルモノ)

河川名	本流枝流所在地名	舟筏里程	日高川	紀伊
利根川	×上野、下野、武藏常	二一七、一七	空知川	石狩
信濃川	×信濃、越後	一七八、一八	大井川	石狩
濃川	×近江丹波、山城、伊賀、大和、河内、攝津	一六八、一七	夕張川	石狩
北上川	×陸中、陸前	一五三、二二	高梁川	備前
阿賀野川	×岩代、上野、越後	一四九、〇一	太田川	安藝
荒川	×武藏	一二六、一九	濁水溪	臺灣
最上川	×羽前、羽後	一一七、〇四	相模川	相模
木曾川	×信濃、飛騨、美濃、近江、尾張、伊勢	一一四、〇一	斐伊川	出雲
石狩川	×石狩	九二、二八	阿武隈川	×羽前、岩代、磐城、陸前
天龍川	×信濃、三河、遠江	九〇、一八	岩木川	陸奥
雄物川	×羽後	八五、〇〇	鵜飼川	陸奥
天鹽川	×天鹽	七七、二六	常呂川	北見
新宮川	×紀伊	七四、二一	尻別川	膽振、後志
吉野川	×土佐、伊豫、讃岐、阿波	六〇、一四	下淡水溪	臺灣
紀ノ川	×紀伊	五八、二六	由良川	丹波、丹後
米代川	×羽後	五八、一二	五ヶ瀬川	日向
九頭龍川	×越前	五七、二一	銅路川	日向
庄川	×飛騨、越中	五〇、二三	湧別川	北見
十勝川	×石見	五〇、二三	後別川	土佐
遠賀川	×筑後	四九、二三	大淀川	日向
筑後川	×筑後、豐前、豐後、肥前、筑前、筑後	四七、二三	吉井川	備前
備前川	×肥後、豐前、豐後、肥前、筑前、筑後	四六、二三	那珂川	常陸
備後川	×備前、備後	四六、二三	球磨川	肥後
備前川	×石狩	四六、二三	浦幌川	十勝

舟筏里程ハ本川及支派川ノ從來舟筏ノ通スル部分ヲ合算シテ二十里以上トナルモノヲ掲ケタルモノニシテ舟筏ヲ浮フルニ適否タルヲ意味シタルモノニアラス又實例アルモノ、外ハ俗間稱呼ノ中、信濃スルニ足ルモノヲ採レリ但シ北海道、臺灣ニ係ルモノハ支派川ヲ除キタルモノニシテ舟筏ノ適否ニ據ラス水源ヨリ河口ニ至ル延長ナリ

其所在地ハ府縣統計書ニヨリ其大體ヲ示ス但シ印ハ内務省ニ於テ調査シタル河川ノ流域ヲ掲記シタリ

前表ニヨリテ見ルトキハ利根川ノ如キ其舟筏里程二百十七里餘ノ長キヲ示スモ實ハ鬼怒川、江戸川、渡良瀬川、甘樂川、片早町、鬼川、巴川等其數流ノ支派川ヲ合算シタル延長里程ナレバ其本流ニ屬スルモノハ實ニ短里程ナリトス由來我國ニ水力電氣事業ノ著シク發達シタルモ此處ニ基因スルモノニシテ自カラ水利行通ノ不便ナルヲ證スルニ足レル所以ナリトス故ニ我國ハ是非トモ此現存ノ水利不便ナル天然川ニ人エヲ加ヘ我ハ運河ノ開鑿ヲシテ水運ノ利便ヲ謀ルニアラサレハ商工業ノ著シキ發展ヲ見ルヲ得ザルナリ是ニ於テカ往古ヨリ德川氏ノ如キハ常ニ之レガ勵行獎勵ニ力メタリキ彼ノ利根川ノ如キモ寶永二年閏四月浚鑿ノ功成リ時ノ幕府ハ事ニ從フ者ヲ賞シ、又安治川ノ如キハ貞享元年ヨリ間河村瑞軒安治ニ命シ淀川及大阪ノ河川大修繕ヲ進シテ安治川ノ開鑿ヲナサシメ以テ今日ノ大繁榮ヲ見ルニ至ラシメタリ(瑞軒安治ハ曾テ琵琶湖疏水事業ヲ企圖シタル人ナリ)殊ニ彼ノ富士川ノ如キハ更ニ舟筏ノ利便ナキヲ慶長十二年二月吉田了以ナレモ之レガ航路ヲ開キシ以來舟筏ノ利便ヲ得又大和川ハ元祿十六年十月浚鑿ヲ始メ寶永元年十一月彼ノ新大和川ノ功成リ而シテ慶長十七年安井道頓ナルモノ大阪道頓堀ヲ開鑿シ船舶航通ノ利便ヲ計リ遂ニ今日ノ繁榮ヲ見ルニ至レルガ如キ何レモ人工水利ノ便ニ據テ繁榮ヲ來タサルハナシ

如斯我國ニ於テハ運河ノ開鑿ヲナシ且人エヲ以テ天然ノ缺ヲ補ヒ而シテ水運ノ利便ヲ計ルニアラサレハ完全ナル國ノ發達ヲ見ルコト能ハサルナリ然レニ今日マデハ人心運輸機關關鐵道ニノ傾注シテ水路ヲ利用スルノ謀ニ思ヒ至ラス且日本ノ全局面ニ就テ一般水路の計畫ヲ立ツル者亦甚ダ稀ナルガ爲殆ト人ノ注意ヲ惹起セザリシモ今や鐵道ノ輸送力亦限リアリテ其要ニ足ラス而カモ其運賃ノ高價ナル等ヨリ漸ク水運ノ利便ヲ求メントスル傾向ヲ呈シ來レガ如シ殊ニ我國ニ於テ全ク海ニ接セザル山城、大和、伊賀、河内、丹波、近江、美濃、飛騨、信濃、上野、下野、磐代等ノ諸國ニハ是非共河川ノ流域ヲ利用シ而シテ其足ヲサル所ハ運河ヲ開鑿シ以テ水運ヲ便ナラシムルコトハ眞ニ忽諸ニスベカラサル事業ナリトス加之我國中海ニ接シタル地ニシテ從來著名ノ港灣ハ暫クナキ未タ其名ノ高カ、ラサル沿海ニシテ淺濶其他ノ人エヲ加フレハ船舶ノ出入碇泊ニ便ナラシメ得ル港灣漁港モ少ナシトセス而シテ之ヲ勵行シ水陸ノ聯絡ヲ計レハ自然運輸交通ノ發展ヲ見ルコト何人モ疑ヒテ容レザル所ナリトス今や民間有志中此點ニ著目シ運河ノ開鑿、港灣ノ改修ヲ企畫セントスルモノナキニアラサレト如何セン適當ナル獎勵保護ノ法律ナキカ爲メ官廳ノ許可ヲ受クル上ニモ其事業ヲ進ムル上ニモ多大ノ不便ヲ感スルヲ以テ何レモ逡巡手ヲ著クル者ナキガ如シ是レ實ニ吾人ノ最モ遺憾トスル所ナリトス我國現時ノ財政ヨリ推シテ到底國ノ事業トシテ完成セシコト不可能ナレハ茲ニ適當ナル保護法ヲ設ケ實力アル民間ノ事業ニ托シ以テ從來不備ノ水陸交通ノ完成ヲ獎勵スルハ我國將來ノ富強ヲ謀ル唯一ノ方法ナリト信ス

○恆松隆慶君 本建議案モ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本建議案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ可決致シマシタ、日程第十二乃至第十四ハ同一委員ニ付託セラレタル議案デアリマスルカラ、一括シテ議題ト致シマス、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ一括シテ議題ニ供シマス、委員長青柳信五郎君

第十二 鐵道速成ニ關スル建議案(渡邊修君外七名提出) (委員長報告)

第十三 上越鐵道敷設ニ關スル建議案(青柳信五郎君外四名提出) (委員長報告)

第十四 信越河東線鐵道建設ニ關スル建議案(安川保次郎君外一名提出) (委員長報告)

(青柳信五郎君登壇)

○青柳信五郎君 皆サン唯今議題ニ上リマシタ日程ノ十二並ニ十三、十四ハ同一ノ委員ニ付託セラレマシタカラ、私カラ一括シテ順次委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、十二ノ建議案ハ香川縣下多度津ヨリ愛媛縣下松山ニ到ル九十六哩餘ノ鐵道ヲゴザイマス、此鐵道ハ既ニ多度津川之江間ハ本年度ノ豫算ニ計上サレマシタ、本年度ヨリ敷設ニ著手スルコトニ相成リマス、然ルニ川之江松山間ハ未ダ提案ニナツテ居リマセヌ、ソレデ此鐵道ハ極メテ必要アリ、竝ニ多クノ費用モ掛ラナイデ、極メテ手輕ク工事が出來ルモノデアルガ故ニ、早ク之ヲ松山マデ接續シテ貫ヒタイト云フ提案者ノ意見デゴザイマス、ソレデ政府ニ聽イテ見マスルニ、政府モ亦提案者ノ意見ト同様必要ト認メテ居ル、又工事モ極メテ容易イモノデアルカラ成ベク早ク架ゲタイ、故ニ引續キ著手スル考デアルト云フ説明デゴザイマシタ、然ルニ引續キト云フコトハ多度津川之江間ノ工事が済シデカラ引續イタルコト云フ意見モアリマシタ、政府ハ必シモ濟シデカラヤルト云フコトナイガ、財政上許ス限リハ成ベク早クヤリタイト云フ説明デゴザイマシタ、提案者ヨリ成ベク來年度即チ四十六年度ニ於テ豫算ニ計上シテ貫ヒタイト云フ希望ヲ以テ、本案ハ全會一致ヲ以テ可決シタ次第デゴザイマス、ソレカラ日程十二、上越鐵道敷設ニ關スル建議案、本案ハ前回ニ於テ提案者カラ説明モ致シマシタル如ク、群馬縣下高崎ヨリ北越線ノ新潟縣下長岡ニ達スル鐵道ヲゴザイマス、此鐵道ハ信越線ヲ回リマシレバ、長岡高崎間ニ於テ百六十餘哩アルニモ拘ラズ、此線ヲ取リマシレバ、百十哩ヲ以テ直ニ接續スルト云フコトニ相成マス、即チ二分の一ハ距離ヲ減ズルコトナリマス、而シテ碓氷ノ困難ナル鐵道ニ據ラズトモ直ニ、新潟縣下東京ト結付ケルコトニ相成リマス、ソレ故ニ政府モ必要ヲ認メマシタ、昨年度ニ於テ測量ヲ致シマシタ、併シ設計ハ未ダ十分出來上ラヌガ、測量大ケハ結了シテアルト云フコトデ、國家ノ幹線ノ豫想線トシテ御承知ノ如ク鐵道網ニモ載シテ居リマス、ソレ故ニ成ベク早ク之ヲ建設シテ上越ノ間ニアルコトノ利源ノ開發ヲシテ貫ヒタイト云フコトデ、政府モ亦ソレニ對シテハ異論ガゴザイマセヌデ、出來得ル限リ

早ク建設スルト云フコトデ、是亦全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、其次ノ十四ノ信越河東線ノ建議案モ、是モ提案者前同ニ於テ説明セラレタル如ク、長野縣ノ屋代若クハ篠ノ井ヨリ分岐シマシテ、新潟縣下長岡ニ達スルノ鐵道デゴザイマス、是モ其間ニ松代飯山或ハ十日町又種々ナル長野縣ニ於ケル有名ナ溫泉ヲ通過スルノ鐵道デゴザイマシテ、是亦政府ニ意見ヲ問ヒマシタコトガ、政府モマダハ幹線トシテハ出シテ居ラナイガ、免ニ角此邊テ敷クベキ必要ハアルト認メテ居ル、ソレ故ニ昨年カラ此測量ニ著手ヲシテ、マダ測量ハ全ク終リハシナイガ、今爲シツ、アルトコロアル、其測量ノ結果ニ於テ必要ト見レバヤル、併シ今直ニ是ガ必要アルト云フコトハ測量ヲ終ラナケレバ明言シ難イケレドモ、免ニ角此邊ニ一本要ルト云フコトハ政府ハ認メテ居ルノアルカラ、イッレ測量ノ結果ニ依ッテ尙政府モ考ヘルトコロガアルデアラウト云フコトデ、是亦全會一致ヲ以テ可決致シマシタ次第デゴザイマス

○恆松隆慶君 此二案ハ一括シテ委員長報告通リ決セラレンコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 恆松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ三案共ニ委員長報告通リニ可決致シマシタ、日程第十五乃至二十八ハ請願デアリマスカラ、便宜上一件毎ニ委員長ノ報告ヲナサシメ、逐次議題トシテ之ヲ採決致シマス、委員長武藤金吉君

第十五 (特別報告第六十五號)復族ニ關スル請願 (委員長報告)

(武藤金吉君登壇)

○武藤金吉君 請願委員會ノ成績ヲ報告ヲ致シマス、唯今議題ニナッテ居リマスル復族請願ハ呈出者高知縣高知市水通町平民公吏村岡靖一外ハ八名呈出、紹介議員ハ町田且龍君、請願ノ要旨ハ文書表ニアリ、委員會ハ採擇ト決定致シマシタ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 委員長報告通リ御異議ガナケレバ可決致シマシタ、日程第十六、爭議調停法制定ノ請願

第十六 (特別報告第六十八號)爭議調停法制定 (委員長報告)

請願

○武藤金吉君 呈出者ハ東京市京橋區八官町士族佐藤顯理、紹介議員ハ島田三郎君外一名、請願ノ要旨ハ文書表ニアリ、委員會ハ採擇ト決定致シマシタ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ採擇ト決シマシタ、第十七、庄内川改修ノ請願

第十七 (特別報告第六十九號)庄内川改修ノ請願 (委員長報告)

○武藤金吉君 呈出者愛知縣西春日井郡庄内村長伊藤威外二十一一名、紹介議員ハ福岡精一君、請願ノ要旨ハ文書表ニアリ、委員會ハ採擇ト決定

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ採擇ト可決致シマシタ、日程第十八、大井川改修工事國庫支辨ノ請願

第十八 (特別報告第七十號)大井川改修工事國庫支辨ノ請願 (委員長報告)

○武藤金吉君 呈出者靜岡縣志太郡島田町長馬場晴利外五名、紹介議員ハ鈴木辰次郎君、請願ノ要旨ハ文書表ニアリ、委員會ハ採擇ト決定

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ採擇ト可決シマシタ、日程第十九、大井川橋渠架設ノ請願

第十九 (特別報告第七十一號)大井川橋渠架設ノ請願 (委員長報告)

○武藤金吉君 呈出者靜岡縣志太郡島田町長馬場晴利外五名、紹介議員ハ鈴木辰次郎君、請願ノ要旨ハ文書表ニアリ、委員會ハ採擇ト決定

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ採擇ト可決致シマシタ、日程第二十、平家音樂史平家物語史論配賦具備ノ請願

第二十 (特別報告第七十二號)平家音樂史平家物語史論配賦具備ノ請願 (委員長報告)

○武藤金吉君 提出者ハ青森縣中津輕郡富田村士族館山漸之進、紹介議員ハ小久保喜七君、武藤金吉君ノ兩名デゴザイマス、請願ノ要旨ハ請願者ハ微力亦貧ヲ以テ此平家音樂史ノ編述ニ著手セラレマシテ、サウシテ此平家音樂史ガ此人ヨリ外ニ精シク知ッテ居ル人ガアリマセヌデアリマス、若シ此人ガ亡クナリマスルト、此平家音樂史ノ歴史竝ニ此譜ト云フモノガナクナルデアリマシテ、東京印刷株式會社ハ義俠ニ依リマシテ數千部ヲ印刷致シマシテ、サウシテ配付ヲサレタデアリマス、サウシテ近頃文部省ニ於テ此「平家物語考」ト云フ本ヲ著シマシタケレドモ、其文部省テ著シタルモノハ杜撰デアリマシテ、往々妄説ガ掲ゲテアルト云フコトデアリマシテ、此請願者ハ何卒是ヲ中學程度ノ教科書ノ參考書トシテ買上ゲテ賞ヒタイト云フノ請願デアリマス、紹介議員ハ此館山君ガ殆ド齡、耳順ヲ超ヘテ居ルニモ拘ラズ、熱心ニ此著述ヲセラレタト云フコトヲ多シト致シマシテ紹介ヲ致シマシタ、請願委員會ハ審査ノ結果、相當ナルモノト認メマシテ、採擇ト決定致シマシタ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 別ニ御異議ガナケレバ採擇ト可決致シマシタ、日程第二十一、區裁判所出張所設置ノ請願

第二十一 (特別報告第七十四號)區裁判所出張所設置ノ請願 (委員長報告)

○武藤金吉君 呈出者長崎縣北松浦郡御厨村長有安淳夫外一名、紹介議員ハ

